新京日日新聞 夕刊 十一月二十二日
一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話〔編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇〕
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

華北防共自治委員會 明日中に宣言發せん

宋、商、韓氏の協力搖ぎなく 北支の明朗化急展開

〔北平にて二十一日金久保特派員發〕宋哲元氏を中心とする北支自治政權樹立運動は去就を氣遣はれてゐた河北省主席商震氏の乘り出しと山東省主席韓復榘氏の積極的協力によつて急速展開を見るに至り、いよく一兩日中に聯省自治政府ともいふべき「華北防共自治委員會」の設立が期待されるに至つた、即ち商震氏は十九日夜特別列車で來平、續いて二十日韓復榘氏も飛行機で飛來し直に平津衛戍司令部において宋、商、韓三巨頭會議を開催委員會の設立に關し重要協議を遂げた、三巨頭會議は引續き二十一日も行はれ委員會の構成、顔觸れ等具體的問題につき意見を交換したが、仄聞するに右委員會は各省自治委員會の上に立つ最高機關として北平に設置し軍事、外交、財政、農鑛、教育等各部より成り各省要人をもつて構成される筈である、而して河北、察哈爾、山東三省のほか山西綏遠兩省をも含む所謂北支五省を結合せる廣汎な聯省自治が實現されるものと解されてゐるが、未だ確定的でなく自治委員會の成立並に宣言發表は五全大會終了直後とされてゐるから二十三日ごろであらう

と述べたもので支那側新聞社某社長は南京政府の言論壓迫を痛烈に攻撃してゐる

有吉、蔣會見を他所に 政權運動白熱化へ

（北平廿二日發國通）南京における有吉、蔣介石會見により北支自治政權樹立運動は一時腰を折られたかの觀あるも右は全く表面的事象に過ぎず軍、政、財各界並に民衆間における自治熱は反つて益々昂揚の一途を辿りつつあり中には此際躊躇逡巡する者は反自治運動者として將來に亘つて斷じて樞要の地位に立たしめず早くも實際運動に着手せる向もあつて表面の冷靜さに似ず新政權運動は今や白熱化に達してゐる

愈々活潑を加へ來る 平津間要人の往來

〔北平二十二日發國通〕商震、韓復榘兩巨頭入平遲延の原因は傳へらるゝ如き心境の變化等といふ如き性質のものでは全然なく要するに環境の推移を眺めてゐるもので、その決意はあくまで強硬であると信ぜられる、宋哲元氏は引續き默々として所信の遂行に邁進しつつあるが、その自己を沒却した革命的態度は漸く一般民衆間に徹底し今後の工作は一層順調に向ふべしと軍政各界の同志連は愈々乘氣となつて之を支持しつゝあるもの、如く平津間要人の往來は昨今頓に活潑を加へて來た

民衆の決意は固い 某有力要人語る

〔北平廿二日發國通〕北平に於ける所謂巨頭會議が遷延を見つゝあると南京上海方面に於ける其後の空氣を眺めて北支新政權運動に對し一脈の不安を釀成しつゝあるに就き最初より自治運動に參劃する某有力支那要人は語る

商震、韓復榘兩主席の來平延期は別に他意ある譯ではない、あの地位あの立場となつてみれば内心如何に決意してゐてもさう輕々に身動きは出來まいではないかどうか氣長に將來を見てゐて貰ひ度い、今次勃發した民衆の運動は決して一時的又は感情的のものではなく民國革命以來の苦い體驗と最近に於る南京蔣介石政權の動向に照し華北百年の計を樹つべく斷じて行ふべく固い決意の下に爲されてゐるものだ

最近有吉大使がまた南京に赴かれたやうだが私をしてそれ率直に言はしめれば、それは要するに國と國との外交々渉であつて我々民衆の氣持や生活とは全く沒交渉のものだ、一體日本は過去に於ける南京での交渉で何ものを得てゐる？、少くとも我々華北民衆は既に眼中南京政府なく蔣介石なく目前自治政權樹立に邁進するのみである、どうか目先單なる人々の動きやなにかに一喜一憂することなく大きな眼で我々の仕事を最後まで見てもらひ度い

首相、三相を招集 對支新方策を協議

〔東京國通〕岡田首相は廿二日閣議前首相官邸に廣田外相川島陸相、大角海相の參集を求め四相鼎座し大演習期間中に發生せる對支問題に關し夫々出先官憲の報告情報を持寄り我方の根本的對策に就き協議する筈である、而して引續き開催される閣議で廣田外相川島陸相より相次で報告說明をなし全閣僚の諒解を求め茲に政府の對支方針を確定し外務、陸軍、海軍三省より出先官憲に夫々訓電する段取りである

尙は有吉大使よりの蔣介石氏との會見報告は遲くも廿二日午後到着の筈でその結果如何では改めて四相會議或は外務陸海の三相會議が開かれることになるものと觀られる

天津報館公會も 民權解放を通電す

〔天津廿二日發國通〕支那紙廿三社よる成る報館公會は宋韓兩氏が中央に發した民權解放の通電に賛同し廿一日南京五全大會に宛て左の如き通電を發した

政權の民衆への解放、憲政の施行は目下の急務であり更に人民の言論、出版物等の自由を實行、民衆の要望に副へ

昨日の三長官會議で 陸軍定期異動決定

〔東京國通〕陸軍定期異動を決定するため二十一日午前十一時半より陸相官邸に閑院參謀總長宮殿下の御出席を仰ぎ開催された陸軍三長官會議は陸軍省原案通り人事異動を決定し午後一時散會した、川島陸相は多分二十二日宮中の御都合を伺ひ參内して右異動を内奏の上直ちに内命を發し十二月一日正式發令を見る事となつた

先づ白根書記官長から「議會開催期も切迫したので政府はこれが對策を整備しなければならぬこれについて各省から提出する法律案、政府の答辯資料、首相の施政方針演說資料等政府の對議會根本策の樹立に必要なる一切の書類を速かに内閣に提示して貰ひたい」と要望した後、對議會策を中心に豫算問題其の他に就き種々懇談を遂げ午後二時散會した

外務省人事異動 近く發表

〔東京國通〕廣田外相は十二月を期し外務省内外の人事刷新を斷行すべく目下原案を調整中であるが、此の程駐白大使有田八郞氏に歸朝命令が發せられ同大使の歸朝を待つて駐支大使、通商局長、公使級を中心とする相當範圍の人事異動が發表される事となつた

第一回兩次官 聯合會議

〔東京國通〕政務次官會議と事務次官會議は從來各別に開かれて居たが、兩者の事務連絡の圓滑を期するため今回兩次官聯合會議を設けることに決しその第一回會議は二十一日正午から首相官邸で開催

滿國々防分擔額 千九百五拾萬圓計上

滿洲國々防費分擔金は康德元年度以來日滿兩帝國間の肉親的不可分關係の表顯として豫算に計上支出し來りたるが來年度豫算に當りても既定の方針に基き一九、五〇〇、〇〇〇圓を計上することに決定した

新任旅順要港部司令官 和田少將 本日着任

〔大連國通〕新任旅順要港部司令官和田秀穗海軍少將は二十二日入港のうすりい丸で夫人同伴來連したが同司令官は語る

旅大へは艦隊では度々來たが勤務としては初めてで全くの白紙、これからしつかりやらうと思つてゐる、滿洲へは昨年聯合艦隊と共に航空戰隊司令官としてやつて來た奧地方面の人には我艦隊を充分見せる事は出來なかつたが飛行機で滿洲國訪問の際は海軍の飛行機だけは見て貰つた、滿洲國初め在滿邦人の方々にも我が海軍の威力を見て貰ひ非常に心強い感を與へた

尙同司令官は旅順要港部差廻しの自動車にて直ちに赴任した

鷲澤代議士離京

國民同盟所屬代議士鷲澤與四二氏は滿洲視察のため來京中であつたが二十二日午前九時發はとで大連へ向け離京した

囂々たる反對に怯む 英國對支借款斷念か

〔東京國通〕ロンドンより確實なる筋への情報に依れば英國政府は日本朝野と英國系を除く在支銀行團が南京政府の幣制改革に擧つて反對し支那内部でも不滿が多いので一千萬磅對支借款案を無理に實行せば日英衝突の危險增大するを憂慮の結果右借款の斷念決意を堅めた樣であると、但し銀思惑で巨利を博せる在支英銀行は幣制改革にモーラルサポートを與ふる事は必然である

對伊制裁に 中國政府ヂレンマ

〔上海廿一日發國通〕去る十八日愈々效力を發生した聯盟の對伊經濟制裁は參加國五十二に及びイタリーは今や全土に亘つて悲壯な非常時風景を呈してゐるが中國も制裁委員會よりの通達に接し伊國品の購入停止、重要原料の對伊輸出禁止、制裁參加國間の互助便法などを原則上遵守する旨の回答を既に十一月十九日ゼネバ宛發出した、これに依つて中國も英國の主唱にかかる聯盟國の對伊共同制裁に正式參加したこと明かであるが昨年來特に緊密を加へ來つた伊華兩國間の通商關係、殊に中國大空軍の建設事業を中心とする兩國の關係は制裁委員會の決議をそのまま實行に移し得ない實情にある、即ち從來米國產軍用機並に米人教官を基本として組織し來つた中國空軍は昨年夏以來伊太利機の購入に主力を注ぎ今年に入つて中國空軍の使用機、部分品は勿論指導教官等も殆ど伊太利より之を迎へる狀態となり飛行機製作工場も伊太利技術指導の下に今尙ほ建設の途上にある

從つて若し中國が對伊制裁委員會の決議をそのまゝ實行するとせば勢ひイタリー機の購入を停止し今日までに輸入したものに對する對伊支拂ひも中止することになるがその結果は現在進行中の飛行機製作工場の建設を挫折し大空軍計畫も根本的に改革しなければならない事になる、これは軍備の充實、特に空軍の擴大強化に多大の犧牲と努力とを傾注せる中國として容易に敢行し得ない處である、さりとて對伊共同制裁參加を拒否することは聯盟國として又對英關係特に緊密なる中國として困難なことであり今や國民政府は對伊經濟制裁の實施をめぐつて一大ヂレンマに陷りこれが解決に苦慮してゐる

妥當方策 疑問視さる

〔上海廿一日發國通〕南京發電に依れば國民政府當局に於て目下對伊制裁實施の具體的便法を考究中とのことであるが果して妥當なる方策が發見されるや否やは甚だ疑問視されてゐる

新嘉坡の支那人 日本人病院を襲撃

〔シンガポール二十一日發國通〕シンガポール在留支那人暴徒數十名は二十日午後八時ビクトリア街の日本人病院鈴木衛生堂を襲撃窓ガラスを破壞して逃げ去つた

リースロス氏 昨日着津

〔天津廿一日發國通〕リースロス氏は本日午前十一時四十五分上海より飛行機で來津、程市長を始め銀行界の代表と會見する事になつてゐる、同氏は二、三日滯在、經濟問題を研究調査の上北平に赴く筈であるが、先に出發した英國大使カドガン氏は本朝七時着津した、時節柄兩氏の行動は注目されてゐる

ブラジル大使 新任挨拶

〔東京國通〕ブラジル大使ピエトロ・レオン・ウエローゾ氏は廿一日午後三時外務省に廣田外相を訪問して新任挨拶を爲した

人事往來

▲黒岩勝氏（古川電氣會社員）二十一日午前來京國都ホテル
▲金井佐久氏（滿洲特產會社員）午後來京同
▲長谷川泰造氏（滿鐵經濟調査會）同
▲森喜代八氏（日本鋼管株式會社重役）同
▲和田昇氏（會社員）同
▲別府英一氏（同）同
▲德永新一氏（同）同
▲井上邦雄氏（中村商會）同
▲川本茂次郞氏（滿洲化學工業會社員）同
▲右近又雄氏（同）同
▲末宗安吉氏（石炭商）同
▲元野長太郞氏（石炭商）同
▲莊司力彌氏（石炭販賣）同
▲丸山義隆氏（會社員）同
▲淸水孝福氏（木材商）同
▲西川總一氏（吉林鐵路局副局長）二十一日午後來京
▲荒木章氏（滿鐵學務課長）二十二日午前發四平街へ
▲井野英一氏（最高法院）同大連へ
▲入江理氏（ハルビン鐵路局編社課）同大連へ
▲丸茂藤平氏（大連市長）同大連へ
▲五十嵐房吉氏（在鄕軍人會新京聯合分會長）同奉天へ
▲千葉千代吉氏（前新京ヤマトホテル支配人）二十二日午前來京ヤマトホテル
▲鷲澤與四二氏（代議士）同大連へ
▲加藤與三郞氏（三共會社員）二十一日午後來京ヤマトホテル
▲鹽澤七歲氏（北平同仁醫院）同
▲桝谷秀夫氏（安東領事）同
▲有宮光門氏（東京ドイツミアグ商會）同
▲片谷傳造氏（東京電化カーボン社員）同
▲渡邊伊三郞氏（大阪商業）二十一日午後來京名古屋ホテル
▲松園源次氏（大阪メリヤス商）同
▲井土精一氏（大阪商業）同
▲海老原久之助氏（同）同
▲高松佐平氏（同）同
▲皆川成司氏（大林組）同

その日〳〵

リースロス天津へ現る、まるでリスみたやうに動いてゐるが鼠一匹出て來るか？

□

地方委員會聯合會本部新京移轉說、在滿日本各機關新京中心の際當然の說

□

洗濯屋の外交員が預り品を入質費消、これほどやりよい横領はあるまい

□

附屬地、城内の水道を一手に納め水道會社を作る、水源地が一つで岐れてゐるのがそも本家がこちらのピストルギャング、近ごろ内地にお株、御先祖樣に濟まねえと憤起

最後の切札八枚

（合作）女八人競演時代
大林梅子……吟子 鈴木綱子 渡邊園子 吉川靜江 木下妙子 飯田蝶子 大橋恵美子

女？女？女？ 4 誤解（四） 飯田蝶子作

『あたし、歸らない……』

『歸らなければア……』

さう云つた瞬間。晶造の手が、三和子の頬へピシリツ！と飛んだ。幾度となく、彼の唇に依つて濡らされた頬だつた。

三和子は、わツ！と云つて壁へ泣き伏してゐた。かの女は、愛する男から始めて打たれたのである。まだ生れてから、兩親からも兄妹からも打たれたことのない彼女であつた。

それが、飛田に依つて洗禮を受けたのだ。愛する人から打たれた――快感？と、云つたやうなものにかの女は、泣き伏しながら浸つてゐた。

晶造は、大きく波打つやうにして、其處に泣き伏してゐる女の背を、眺めるやうにして見下してゐた。それは、心憎いほどにいぢらしい姿である。

――この女が、自分の見も知らない男のものとなるのかと思ふと、むく、むくと憎しみの情が募つてくるのを、どうすることも出來なかつた。

そして、そのはけ口が、彼の嗽罵となつて現はれた。

『さつさと歸つてくれ！君のやうな女の、顔を見るのも癪にさはるんだ……おいツ、歸らないか』

三和子は、漸く、心持ち顔を上げるやうにしてゐた。男の氣持ちが、こんなにまでなつてしまつては、モウ取つく島がないと思つたか、

『あたし、歸ります！歸りますわ……』

と、云つて、涙を拭きながら立上つてゐた。

間もなく、三和子が、力の抜けたやうな足どりで部屋から出て行つてしまふと、

『ふん、馬鹿なやつだ』

と、罵るやうに云つて、晶造は、其處へごろりと仰向けに仆れた。

彼の眼には、いつの間にか涙がにじみ出てゐた。

腕を組んで、仰向けに仆れてゐた晶造の頭は、怒りで一杯になつてゐた。怒りながら、彼は、三和子の薄情を恨んでゐた。

――あたしは、叔父さんから話のある人と結婚します。今までは貴方を愛し、また貴方からも愛されて仲よくしてゐたけれど、結婚の約束はしませんでした。今度、貴方以上の人があらはれたから、あたしは其の人と結婚するんですから、貴方は、身を退いて下さい。――

要するに、三和子は、これだけの事を云ひに來たものとしか、晶造は、考へてゐなかつた。

彼とて、決して單純な人間ではなかつたかも知れないが、際質として、經緯だけに、かッとすると滅茶苦茶になつてしまふことがあつた。

晶造は、考へた。――

相手が、彼女の家に取つて、どれ程恐しい叔父さんの口添へか知らないが、結婚といへば人生の一大事である。

シテ見れば、餘程、先方を見極めた上でなければ結婚なんてものはすべきものでない。殊に愛のない結婚なんて殊更間違つてゐる。愛のない結婚には、かならず破綻を生ずるものだ。或は、一概にさうとばかり定めてしまふ譯にも行かないだらうが、少くも、自分の知つてゐる三和子の場合は、さう云へるのである。

それが、それでありながら、叔父と云ふ人から話のあつた結婚に對して、三和子が、斷りを云へないのは、先方の男と云ふ者を能く知つてゐて、自分にも、相手を愛する氣持があるからこそ、然んなの前で斷り切れないのだ。自分の前へは、すべてを叔父のせゐにしてあんな事を云つて來たのだ。

滿鐵社員の「虚禮廢止は絶對的に嚴守」
此際龍頭蛇尾に終るな　けふ正式に通達

新京滿鐵社員會が年末年始に際しての虚禮廢止、殊に忘年會の一切取止めは時節柄各方面に相當なセンセーションを捲起し、その効果を期待されるが同聯合會では二十一日聯合會長の名を以て各分會代表宛、左記通達この際全員に洩れなく趣旨の徹底に努めることゝなつた

＝年末年始の虚禮廢止その他に關する件＝

北支の風雲急を告げ時局益々重大なるに鑑み、新京聯合會は役員會の決意に基き率先して非常時を再認識し、國家百年の大計樹立に添ふべく善處せねばならぬ

茲に於て我聯合會は修養、宣傳兩部主管の下に首題その他に關し、近く具體的成案を得て「ポスター」「宣傳ビラ」等を發表する筈なるが、年末も月餘に迫り例年の實狀に鑑みるも龍頭蛇尾に終る憾みあり、本年度は各位の理解ある御賛成の下に社員相互間の申合せとして絶對的に左記事項を嚴守することゝ致度に付御諒知の上貴分會各位に周知方御取計ひ煩度し

記

一、忘年會、新年宴會の廢止
二、年末年始贈答廢止
三、社員相互間廻禮廢止
以上

入營兵送別會
晴れの九十三名を招待して　廿四日公會堂で開催

新入營の壯途に上る若き勇士の首途を祝ふ入營兵送別會はいよ〳〵二十四日午後一時三十分から記念公會堂で盛大に開催されるが、當日招待を受ける新入營兵の氏名は左の通りである

△附屬地管內　坪井貞爾、山田利光、藤本正、伊東抱一、森鄉治、江崎一美、大池晴二、林大藏、松浦正雄、菅沼一夫、永森文吉、增田米吉、川原久夫、山內强、牛田淸、吉田義夫、窪閑博、北山喜雄、玉村玉市、小林吾一、村田杉男、石黑義久、田中淸治、前田貞夫、淺田慶喜、佐々木木子一、澤井恒也、南勝、松尾速、梶谷三郎、高橋健治、岡崎治男、八色重信、田代專造、平藪雪夫、麓島藏、池田和夫、岡野隆、細田政雄、岸木柳一、佐原弘、松木春茂、坪田政秋、伊藤哲郎、岡田俊雄、木村正敏、新部禮二、谷口正夫、大塚勝、恒石可幸、勝田昌二、末松生、坂根豐、川島信雄、加瀨芳夫、松本悟、上之園耕、早坂正道、石崎武男、川西久作、渡邊利惠、河口數馬

△特別市管內　田中美之、大下辰雄、鎌田秀八、角田潔、川戶光臣、鈴木基一、齋藤勘治、川端雪江、廣津薫、藤田實、武田博昌、脇坂慶成、佐藤哲夫、小關俊郎、二木茂益、原正壽、畑田淸、池袋淸海、增田利郎、土居忠義、石澤祝、國光若雄、香川健二、永田國男、横山重次、吉田竹一、塚本一夫、高島爲義、須田正美、松尾速

入營兵奉告祭

新入營兵の奉告祭は二十四日午前十一時から新京神社で執行されるが式次第は左の通り

次第
一同祭式場參入
拔式明扉、獻撰、祝詞奏上（神官）
玉串奉奠
神官－主催者－入營者－新京總領事－新京警察署長－帝國在鄉軍人會新京聯合分會長－來賓代表
撤饌閉扉（神官）
一同祭式場退去、別席に參列
式辭（主催者）
告辭（總領事、警察署長）
祝辭（來賓）
答辭（入營者代表）
御守授與
神酒御饌拜戴
記念撮影（社前）

新舊駐滿海軍部司令官送迎に　張侍從武官を

濱田新任駐滿海軍部司令官は來る廿五日午前八時五十分着京又津田前司令官は廿七日新京を出發するので皇帝陛下には當日張侍從武官を新京驛へ御差遣あらせられる

◇寒風をよそに溫室花燎爛

酷寒に縮上る　哀れな邦人群
鐵道北の新京勞働保護會　けふ當局に泣付く

鐵道北、新京勞働保護會無料宿泊所では現在卅餘名宿泊してゐるが、その多くは全然無職の上に文無しの哀れな境遇におかれ、永井會長、少松福祉委員らの心からなる同情と努力によつて、どうにか糊口は凌いでゐるとはいふものの、この酷寒にパンよりも大切な燃料が思ふやうに手に入らずふるへてゐる始末である、これがため前記兩氏は二十二日地方事務所に鯉沼地方係長を訪問し縷々陳情するところあつたが、地方事務所でも大いに同情し鐵道の枕木その他の不用材の寄附を受けこれを燃料に當てるべく鐵道側に交渉することゝなり、一方一般の同情によつて彼等のため出來得る限りの救濟方法に出でたい爲趣である、右につい永井氏は語る

以前は彼等の勞働によつて鐵道の石炭のコボレを頂戴してゐたが、列車直通のためそれが出來なくなり忽ち困ることになつたわけで、當會としても潤澤な資金がないためつひ現狀に置くよりほかない始末です、寒さの爲堪へ切れない彼等は驛待合室に或は圖書館に押しかけるが、誠に氣の毒なもので、この際世の奇特者の同情によつてぜひ救濟したい

入營壯丁等　新京警備隊見學

在鄉軍人會新京聯合會では既報の通り本年入營壯丁の便宜を圖つて豫備教育まで行つてゐるが廿二日午前十時から十二時まで壯丁に新京警備隊を參觀せしめ營內見學をなした

來春竣工する　檢車區客車庫

グレート新京に相應しい新京檢車區の新設客車庫は既報の通り機關區裏に長さ二十五メートルで六線收容のものが貨車修繕庫と同時に建築中で修繕庫は本年中に竣工し客車庫は現在のところ線路敷設中溝工事だけ終つてゐるので竣工は少し遲れて來春になるらしい、同車庫の竣工の曉には來春旅行シーズンの大量旅客輸送に際しての客車の檢車の萬善を期待されてゐる

大連滿銀ギャングは　黑色・□□關係？
滿鮮一帶水も洩さぬ非常網

二十一日午前十時頃大連市伊勢町六十九番地滿洲銀行に自動車で乘りつけ折柄現金計算中の十番收納係デスク前に立ち現はれ係員櫻井君に拳銃をつきつけ脅迫し現金五百十五圓を强奪逃走したピストルギャングにつき所轄大連署では直ちに署員の非常召集を行ひ全市に水も洩らさぬ搜査網を張り一方滿鮮各署に手配して犯人搜査につとめてゐるが未だ逮捕されないが犯人の遺棄してあつた（以下判読不能）

は二十日夜來極度に緊張を見せてゐる

又も南關署管內に　拳銃强盜二件
寒夜に躍る國都の餓狼群

晝夜の別なく頻々として拳銃强盜犯人出沒し市民を戰慄せしめてゐるが、又もや▲廿一日午後五時ごろ南關警察署管內南嶺永安二條胡同門牌十三號張鳳方へ九名組の拳銃强盜團が押入り家人を脅迫し衣類七點を强奪逃走した、▲同日午後一時三十分ごろ三人組の拳銃强盜が同隷南關署管內宇家嶺門牌二十一號里方祥方へ押入り銀腕輪一個その他衣類三點を强奪逃走した個出とともに南關署では署員の非常召集をなし犯人搜査中である

元高山署長以下に　勳章賜金の傳達式
飛田警部に勳八等旭日章

滿洲事變以來第一線に立つて活躍多大の殊勳を樹てた元新京署長高山勝司氏外同署關係者三百三十二名の勳章並に從軍記章及び賜金傳達式は二十二日午前十時より新京署樓上講堂に於て擧行された、定刻東條警務部長代理靑木高等課長より新京、領警兩署部長以上の授勳者に對し

滿洲事變以來第一線に立ち警察官として砲煙彈雨の下に活躍した殊勳に對して今回有難き思召あり皇恩に報ゆべく邦家のため益々努力されんことを祈る

旨の訓示をなし終つて十時二十分より全署員講堂に集合授勳最高高山元署長に勳四等瑞寶章と賜金一千六百圓、武波元署長に勳六等旭日章と賜金現署員殊勳甲飛田警部に勳八等旭日章と年金、以下三百三十二名に夫々勳章と賜金を傳達し終つて授勳者を代表して飛田警部答辭を述べ午前十一時半閉式、一同玄關にて記念撮影をなした（寫眞は新京署の勳章傳達式）

歲末が近づいて　橫領拐帶頻々

年末を目睫にひかへ持ち逃げ橫領が頻々として警察署に屆けられてゐる、市內日本橋通五十五大同俱樂部二十五號室電氣請負業村本某は二三日前臨時に雇つた本籍山口縣阿武郡生れ三好勝治（二五）に稻垣ビル工事場から電氣メガー一台時價百五十圓を二十一日午後八時頃自宅まで持ち歸るべく命じたのを奇貨とし、三ふこれを橫領逃走したのでその旨屆け出た

◇―――◇

市內老松町松龍ビル內本田直康氏は二十一日正午頃同家使用人本籍朝鮮全羅北道金州生れ林永奎（二〇）に正隆銀行から四百圓を受取るべく命じたのを奇貨とし朴は其の金を銀行から受取り本野氏の自轉車に乘つたまゝ逃走姿を晦したのでその旨新京署に屆け出た

匪首馬捕はる

去る十四日我軍の徹底的討匪工作により敦化驛より列車に乘入み秘かに東邊道方面に逃走を企圖中の匪首馬參謀は我が警乘兵のため逮捕された

岩越〇團の　各部隊討匪狀況

【ハルビン國通】岩越〇團麾下各部隊は零下二十餘度の寒氣と戰ひ乍ら各地討匪工作に着々その功果を擧げてゐるが最近の討伐成績左の如し

▲濱江地區橫山部隊齋藤〇隊は十一日朝部下〇名を以つて匪首不明の合流匪百名と交戰之を東北方に擊退した敵の遺棄屍體二、我方損害無し

▲勝又〇隊は右齋藤〇隊の戰鬪を救援すべく十一日午後該匪を追擊中中和屯附近家屋內に十數名の匪賊が潛伏してゐるを發見、之を包圍攻擊して多大の損害を與へた

▲諏訪本部隊の關屋〇隊は十五日午前十一時濱站西南方で匪首天義、五省の合流匪二五の根據地を急襲し之に全滅的打擊を與へた、敵の遺棄屍體十七、鹵獲小銃彈九一二二六、拳銃七、彈丸三〇七、人質奪還一〇、我に損害無し

▲吉本部隊の田中〇隊は十七日午前六道河子東北の地點で匪首不明の七十の匪團と交戰其の根據地を襲擊し之を撲滅した敵の遺棄屍體三我方の損害重傷一、一等兵原幸一殿部貫通銃創

ドイツ經濟使節　二日着京

獨逸經濟使節キープ氏一行の來滿はその日程を變更し、來る廿八日東京出發し三十日奉天着一泊の後二日着京することになつた

立石成人氏赴任

開原地方事務所公賣主任に榮轉した前地方事務所公賣係員立石成人氏は二十二日午前九時新京發で赴任した

大連市長離京

大連市長丸茂藤平氏は二十二日午前九時發〝はと〟で夫人同伴歸連した

街の回記

新京梅若綠葉會　謠曲囃子大會

新京梅若綠葉會秋季謠曲囃子大會が北安路九一二松島鑑氏邸で二十四日午前九時から開催される、番組は素謠が竹生島經政、村若、紘上、于手、藤戶、俊寬、葵の上、松風、仕舞が鶴龜、熊野、紅葉狩、現々、笠之段、淸經、通小町舞囃子が吉野天人、櫻川盛久胡蝶、富士大鼓、百萬、船辨慶等で、會員外の參聽を歡迎する

電々移轉披露宴

電々會社新京移轉披露は二十日午後六時から公會堂へ日滿各界の人々四百餘名を招待開宴に先きだち山內總裁の挨拶李交通部大臣の謝辭があり支那料理の饗應、美妓連の接待ならびに餘興があり盛宴であつた

あす（廿三日）
△津田前海軍部司令官官民合同送別會　午後六時ヤマトホテル
△第二回全滿郵便現業事務競技大會　午前九時記念公會堂

今晩の主なる放送番組
▲七・二〇物語グランド將軍の片影（東京）佐々木積▲七五〇詩吟（熊本）大嶋博之▲八・〇〇吹奏樂（東京）海軍々樂隊指揮樂長內藤淸五

けふの銀相場
國幣對金票　一〇〇三〇〇
鈔票對金票　一〇八四六〇
國幣對鈔票
現大洋對鈔票

先般公會堂で電々移轉披露宴の余興に新舞踊お夏を踊つて嵐のやうな拍手と歡呼を浴びた曙の錦花▲市川小太夫と筒井筒振分け髮の幼友だちで今度滿洲で邂逅の一場面が展開されやうといふ親聽のあつまつてゐる妓▲こないだの寫眞キユーピーの頭をなめてゐるのではなく頰ずりしてゐたのでした、あの記事の中に猿之助が延之助になつてたり▲兄弟あべこべに書いたりしてあつたの姻ちがいだが訂正、錦華とあつたのも錦花です

天氣と氣溫
明日の天氣　北西の風晴一時曇
日の出　午前六時四十三分
日の入　午後四時　七分
月の出　午前三時四十三分
月の入　午後二時　四分
けふの氣溫　最高　六度三　最低零下　七度四

映畫と演藝

（新映畫紹介）緑の地平線

—日活東京映畫—

（二十二日より新京キネマ上映）

原作……横山美智子
脚色……荒牧芳郎
監督……阿部豐
撮影……碧川道夫

（梗概）—岡見良樹は磯田鐵哉の妹純子との間に子供まである仲であつたが、今は振り向かうともしないで濃艶な未亡人逸子と火遊び的戀愛を享樂する傍らダンサー奈津子の歡心を買ふべくつとめてゐたその上岡見には大實業家吉井高一郎の愛娘早苗といふ許婚があつた。

父高一郎が岡見を厚く信用してゐることが早苗にとつては不思議でならなかつた。

ダンサー奈津子には瀬尾雄三といふ許婚があつたのだが雄三が幾年かの後の愉しい結婚を夢みながら海外へ留學するや、雄三の父は一夜酒の力をかりて奈津子の貞操を奪つて了つた、世の中の醜い半面をまざまざと見せつけられた奈津子は、男性を憎惡し男性の敵となつて鬪ふべく家出し流轉の末ダンサーとなつたのであつた。

—キヤスト—

岡見	中田弘二
雄三	岡讓二
吉井	高木永二
磯田	小杉勇
仁吉	星ひかる
奈津子	星玲子
逸子	西條エリ子
早苗	黒田記代
純子	村田智榮子

◇……◇

そうした過去を持つ奈津子は巧に岡見の愛慾をかり立てるのであつた。

一方、海外で奈津子の家出を知るや雄三は早々に歸朝した、その頃、岡見の行動に幻滅を感じた早苗は、父に婚約解消を迫るのであつたが父は肯じやうともしないので意を決して家出をした。

岡見に捨てられた純子は兄鐵哉や兄の友達仁吉等に勵まされて子供のために雄々しく街頭に立つて働く一方奈津子に夢中になつて自分を省りみやうともしない岡見を逸子は執拗に追ひかける。

◇……◇

かうして何時果てるともなき愛慾に狂ふこれらの人々の上にも神の裁斷が下される日が來た、愛慾の惡魔と化した未亡人逸子は岡見と奈津子を射殺し、汚れた自分の半生をも清算した。

死の床で奈津子は翻然と昔の純情な氣持に立ち返り、遇然の機會から結ばれた雄三と早苗の清純な戀を成就させるのであつた、ほのぼのとして緑の地平線に美しい太陽がヒつてゆく。清く、高く、つゝましやかに人の心にも太陽の光が充ちあふれるのであつた

地獄囃子（前篇）

右太プロ映畫、「モダン日本」に連載された子母澤寛の股旅物、江戸無宿の平太郎が芝居見物の折柄、隣桝に座つた女を見染め、木曾路の娘と聞いて旅に出たが、丁度大平峠に差しかゝつた時いきなり斬りつけた奴がある、これが發端となつて平太郎の仁義ばなしが始まるが、脚色には千々番が當り、松田定次が「一代」に次いで新興から出張監督をしてゐる、ーランサ、となつた吉野朝子、徳川良子等が助演してゐる、撮影は興篤夫（二十八日より長春座上映）

「緑の地平線」　廿二日より　新京キネマ

新京キネマ二十二日よりのプロは待望久しかつた「緑の地平線」前後篇をトリに千惠藏の「時代の寵兒」を加へた二本立の編成である

△日活現代「緑の地平線」前後　スタッフ並びに梗概別項參照、東西兩朝日に連載された横山美智子の一萬圓當選懸賞小説の映畫化としてポスターバリユウは申分なく、水久保澄子の病氣脫退等により封切が延期されてゐたが、日活現役の華やかな顔振れが並んで更にそれに輪をかける、日活現代劇としては久方振りの豪華版である、星玲子の奈津子が見ものであらう

△千惠プロ「時代の寵兒」山上伊太郎のオリヂナルものである、常に脈々たる野心と好ましい風格をもつて時代映畫に新しい意識を吹き込まうと努力をしてゐる人、マキノで作つた『浪人街』は今でも話題にのぼる近頃でこそ余り活躍しないが、千惠プロに殘した幾つかの作品も良かれ惡しかれ何らかの問題を提供してゐたものである、そんな意味で再見の價値があらう

撮影所だより

▲「曉の麗人」豫告篇　新興東京撮影所が全所員を總動員し、鋭意强行撮影中の巨匠曾根千晴監督作品「曉の麗人」は新興東京大泉移轉記念超特作として、その配役の豪華を誇ると共に、日本映畫界未曾有の雄渾壯大無比なるスケールと、波瀾萬丈を極めたプロットを經緯とした豪華版であるが、その完成に先立ち、曾根監督總指揮の下に、川手二郎監督が鋭意作成中であつた豫告篇が完成愈々近日全國封切館の銀幕を飾ることゝなつた。

▲小宮一晃「春色五人女」「太閤記」に特別出演　目下新興東京撮影に於て移轉記念超特作「曉の麗人」とオールトーキー「武器なき人々」に活躍して益々そのすぐれたる演技を示してゐる新興東京撮影所の誇る至寶三枚目小宮一晃はその繁多たる撮影中を特に京都撮影所の懇望により、新興京都新春特作石田民三監督作品「春色五人女」と渡邊新太郎監督「太閤記」出世飛躍の巻に特別出演のため京都へ出張中。

▲正月第一週、與太者映畫大作「與太者と若夫婦」　蒲田名物、與太者シリーズ映畫は本年一月「與太者と小町娘」以來約一ケ年間に亘つてとぎれてゐたが、又愈々與太者映畫始まつて以來初めてのオールトーキー大作を製作する事になり城戸所長はこれが脚本執筆を桝井隆雄に擔當せしめてゐたが、去る三日遂に脚本脫稿を見るに至り「麗人社交場」完成以來休養を續けてゐた野村浩將監督は潑剌たる氣勢のもとに與太者トリオ第十一回作品「與太者と若夫婦」と題名を決定直ちにキヤメラ高橋通夫（與吉改名）で撮影開始した、與太者トリオは、磯野、阿部に新たに花村千惠松が加はり川崎、坂本、飯田、小林、突貫、吉川、水島、松井等のプリンシパルプレイヤーが編成されて與太者連中こんどは柔道に熱中して、街の不良青年や不良ダンサーを投げ飛ばして危機に立つ若夫婦を護る悲壯な珍演をお目にかけんとするもの。

新京キネマに久方振りに現代劇がかゝつた、題して「緑の地平線」といふ、一體に日活といふ會社からは堂々とトリに使へるやうな現代劇は年に數へる程しか生れない、たまたま作つても目立たないから困る、「緑の地平線」にしても新京キネマが力を入れる程にピンと來ないのである、會社としては蒲田の「永久の愛」などと對照に置かれる大作なのであるが、「緑の地平線」は「永久の愛」の半分の景氣も煽ることが出來ない、日活といふ會社はなぜ全てにかうまづいことをするのであらうか▲かりに吾々の仕事の方から言つてみてもである、宣傳物一つ送つて寄こした試しがない、新興、松竹、P・C・L等がうるさい程送つて來るのに比べて大變な横着ぶりである、宣傳などに働く人がゐないと言ふなら、これは別である▲帝都キネマが帝都劇場と改稱、單なる映畫館以上のものにしたい意向はないがアトラクションぐらゐ自由にやれる程度の計畫らしい、映畫館が狹い處に四つも並ぶとすれば色々と頭も痛むことであらう、とに角進むはよし、賑やかなところを顧ひする

今日の演藝街

△長春座—二十三日まで、マルレーネ・デイトリッヒ、ライオネル・アトウイルの「西班牙狂想曲」リチャード・バーセルメスの「夜の帝王」栗島すみ子、岡讓二の「利根の朝霧」

△新京キネマ—二十二日より四日間岡讓二、中田弘二、小杉勇、星玲子の「緑の地平線」前後、片岡千惠藏の「時代の寵兒」

居住消息

▲一條秉丸氏（宮城縣）錦町

▲兵頭由秋氏（香川縣）興安四丁目陸官三十號小林方へ

▲村田貞市氏（長崎縣）入船町三丁目三番地ノ一へ

▲大貫義隆氏（茨城縣）室町二丁目三番地室町ビルへ

▲根本曉一氏（東京府）梅ケ枝町三丁目十二番地ノ四へ

▲高林善市氏（長野縣）梅ケ枝町三丁目十二番地ノ四石塚方へ

▲川村早苗氏（三重縣）同上

▲保田淸之亟氏（福岡縣）奉天から東二條通り五十八番地八島館へ

轉居

▲和泉正男氏和泉町から近埠胡同四百四號ノ三へ

▲渡邊久滿次氏老松町から大和通五十四番地へ

▲宮崎政義氏祝町から入船町三丁目三番地へ

▲古賀專介氏日出町から入船町三丁目一番地山口方へ

▲細田茂一郎氏老松町から朝日通りへ

▲堀川泰藏氏日出町から梅ケ枝町四丁目四番地ノ四へ

▲松尾竹次氏永樂町から日出町二丁目二番地へ

出生

▲町田稔氏（義和路六百一號）三女典子さん八日出生

▲西奈美良治氏（菊水町三丁目三番地三十號）長女良子さん十七日出生

▲白鳥盛氏（芙蓉町一丁目二十七號）四男洋右さん八日出生

死亡

▲小幕文吉氏（羽衣町三丁目二十一號ノ一）男博章さん二十日午後零時四十分死亡

十一月廿三日　土曜　舊十月廿八日　癸卯　先勝　定　女宿

●一白の人　良き種を蒔きて一粒萬倍の利益を收むる日甲と丙と午が吉

●二黒の人　人を信じ過ぎて瞞着せられ飼犬に手を咬る午と辛と壬が吉

●三碧の人　一旦の失敗は再起覺束なきに至る注意肝要甲と乙と丁が吉

●四緑の人　喜悦次第に加はり來れども契約金談は注意甲と乙と庚が吉

●五黄の人　依頼心を起し期待に反かれ却て窮境に入る午と未と庚が吉

●六白の人　事毎に動搖激しく浮沈多かるべし起業大凶丁と庚と壬が吉

●七赤の人　一本橋を渡り切らんとして足を蹈外す如し丙と辛と癸が吉

●八白の人　榮達を期して空想に終る眞面目なるが吉し丁と未と丑が吉

●九紫の人　新計畫は見合せ舊業に努むれば利益高調す庚と辛と乾が吉

防空獻金現況報告（三）

特別市公署及居留民會受付未發表の分

數字は金（額單位圓）七、七〇、奥一民、一、〇〇、馬德新、四、〇〇、新有福、二、三二、張俊珊、一、四〇、馮玉華、一、一〇、春發軒、一一二、劉順起、一、〇〇、王向宸、二、〇二、會興盛、二三二、任振典、一、〇〇、劉興林、一、一〇、新樂堂、二〇二、張蓮珊、四、〇〇、孫仁山、一、一〇、文樂堂、一〇四、高蔭群、一、〇〇、范文志、一、六六、寶順堂、一一二、徐換廷、六、〇〇、楊鳳嶺、一、三六、福順盛、一六六、孫振東、一、〇〇、李煥然、二、〇二、善廷牙社、一三三、七四、董奎三、一、二〇、吳玉書、一、三六、美顏芳、一、一〇、孫玉美、二、〇〇、當察遷、一、〇四、義美軒、四、六四、王玉蓮、一五、六〇、李長林外三五名、一、三六、合記理髪處、一、三六、常洪峯、一、二六、艶喜堂、一、三八、永合隆、一三八、楊玉山、一、〇〇、群仙堂、一、一〇、福元堂、三〇六、王介青、一、〇八、王家館、一三七、九四、新民戲院、一三、六二、李秀石、一〇〇、翠樂堂、一、〇〇、佳美麗、一、七六、安文袋、三八二、喜順堂、二、〇二、長福堂、一〇、五六、馬廷振、三、〇六、華順堂、二五、六八、永合成木廠、一〇、八〇、李鳳春外一八名、一、一〇、永合號、一九、〇〇、春陽旅社、一、〇〇、馬中全、二、三二、王發長、六、三二、新春客棧、二、三〇、福勝長、二、三二、東發長、一六、二八、振合隆、一、〇〇、韓子一、〇四、新鴻記、三、〇六、韓成德、一、〇〇、馬德政、一、六〇、永發軒、三、〇〇、李惠榮、一、四〇、張鵬翔、一、三六、双喜堂、三、〇六、泰安客棧、一、三六、天合店三、〇二、金仙堂、一、〇四、孫成林、一、三、六二、永德春二、三二、喜樂堂、一、一〇、豊維楨、四、〇四、湧利興、三、〇〇、花樂堂、一、一〇、蔡景順、一九、〇〇、天增慶三七、二八、林森木廠、一、三〇、李煥文、一〇、五八、永興長、一、〇四、聚樂堂、一二、七二、尚明齋外二二名二七、六〇、源興合、一、三六、德順堂、六六、八六、徐錫九、五、二八、楊玉民、五四四、玉香堂、二、〇二、楊文顯、五、四六、大羅天、二二四、文利堂、二、八四、夏錦卿、二、四〇、德發合、一〇四、素琴堂、三、〇四、劉漢忠、一九、〇〇、新豐號、一、〇二、榮喜堂、四四、楊玉長、六、三二、永發號、一六六、雙福堂、三三、七四、同意合、二三、三八、源昌號、二、〇二、富喜堂、一、六八、王予臣、四四六、九八天錫昌、一、一二、新樂堂、一、八八、杜鳳岐、一一〇、七二、新美華金店、二、三二双鳳堂、一、三六、原麟閣、一、三六、香順堂、一、一二永福堂、一、三六、高精一、一、〇四、金順堂、二、〇二双發堂、二、三二、于清、二三二、双樂堂、一、〇四、福德長、一、三六、悲好義、一一〇、吉順堂、一、三六、永順堂、一、三六、多榮林、一三六、西德利堂、二一、四〇玉卿堂外三七名、二一、八四、周華南、一、八六、翠紅堂、一、〇〇、張祥五、九、一〇劉禹洲、一、〇四、紅卿堂、一、三六、斐錫九、二〇、二八、成文印書、一、六八、紅樂堂、一、一〇、周致和、二〇二、郝玉田、二、〇二、四四順堂、一、〇八、劉永庫、三、八二、康鳳剛、一、一二寶雲堂、二一、八〇、馬春令二七、六〇、常信之、四、六四、双貴堂、一、六六、李福恩、二七、〇〇、馬成玉、二三二、玉福堂、二、三二、只德奎、一四、六八、耿子九、一三、六二、陳佩璋、一、六六、秦寶山、三、〇四、費云峯、二二、二〇、郭占魁、五、二二、常鳳翔外七名、一、三二、曹貴茹、一、三六、張洪彬、一、三八、買蘭廷、九、六〇、福順永、一、三八、張寶興、二一、八〇、呂蘭廷、一、〇四、杜清田、五二〇、劉仲三、一、三三、馬福祥、一、二〇、田恒本、一、六一一〇、九〇、解鳳廷外一八名張澳清、一、六〇、路分元、一、二〇、張德財、二、三二田春雨、一、八〇、汪化洲、三、八〇、汪文與（獻金累計額三〇、六〇一圓二五錢）

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓　郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢　特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話【編輯部專用三二一五 營業部專用三三二〇】
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

蔣、北支死守を密電 永久抗日策を强調す

軍部從來の積極工作へ急轉換

自治派要人も南京政府と離脱決意 新政權樹立に拍車かく

【天津廿二日發國通】有吉大使、蔣介石氏の會見により積極的に進みつつあつた北支自治制確立の政治工作は表面一頓挫を來した如くであるが、右は蔣介石氏が北支自體の局地的解決を避け重心を一時南京に移動せしめ有吉大使に對して北支自治原案の全面的容認を約して之を安堵せしめ、その實裏面では依然として假裝親日を持し宋、蔣、韓の諸氏等北支政局の要人に對し日本とはあくまで抗爭、北支を死守する旨廿一日密電を發し再び永久抗日策を强調せるに因ること判明したが此の蔣介石氏の有吉大使との外交々渉を逆用せる北支要人牽制策は見事に看破され右密電により自治派各要人は寧ろ却つて此際確然と南京政府と手を切り去就を明確にするを得策として改めて斷乎不動の決意を固めた模樣である、又一方出先き軍部に於ても蔣介石氏が斯く依然として對日抗戰を主張し現に盛んに軍隊を繰出して居る以上何應欽、梅津協定に照し華北明朗化には如何なる犧牲を拂つても斷乎として南京政府を膺懲するより途なしとの重大決意を爲し、所謂和戰兩樣の外交より軍部從來の積極的工作へ急轉換を爲すに至つたもの﹆如く今や北支は暗雲低迷し玆旬日の動きは頗る重大視すべき情勢となつた

陸相昨日の閣議席上で 軍の方針を披瀝

【東京國通】川島陸相は廿一日の陸軍三長官會議散會後官邸に滿蒙班長影佐中佐を召致し支那の銀國有令實施前後の事情、北支自治運動の情勢に關し詳細なる說明を聽取したが川島陸相は廿二日の閣議に於て右二問題につき詳細說明の上陸軍の方針を披瀝する事となつた、然して北支問題については外務、陸軍、海軍の事務當局間に密接な連絡をとり萬遺憾なきを期して居るが陸相の閣議に於る說明要旨は大體次の如きものと解される

一、滿洲事件發生以來滿洲三千萬民衆は舊軍閥政府の虐政より離脫し王道滿洲國の誕生と共にその生活を享樂し善政を謳歌して居るが滿洲國と地理的に隣接する北支住民は此の滿洲國の王道樂土振りを憧憬して南京政府の苛斂誅求の虐政より脫し人民の福利を主とする人民自治の政治を渴望し漸く大衆的な運動と化するに至つた、我國としては此動向は滿洲國治安の上にも重大關係の有るもので多大の關心をもつて其成行を注視して來たり、曩に北支の治安を紊し抗日反日の不逞行爲を繰返した藍衣社、〇・〇團憲兵第三團等の北支よりの撤退を要求し更に中央軍の河北省よりの自發的撤退をも實現せしめ北支の治安を確保すべく努力し來つた

一、今次の民衆自治運動は自發的民衆運動であるから帝國としては好意的態度をもつてその成行を靜觀する方針を堅持し來つたものであり今後も此の態度は不變である

一、從つて今後の事態の變化は豫斷を許さぬが我方としては飽くまで人民の福利を基調とし帝國の權益と居留民の生命財產利益の保護を念とし事態の進展に善處するものである、萬一南京政府が北支地方の治安を攪亂するが如き手段に出で塘沽停戰協定、梅津、何應欽協定等に違反するに於ては我方としては斷乎有效適切なる手段に出づる用意がある

有吉大使歸滬

【南京廿二日發國通】有吉大使は廿一日外交部に唐有壬次長を訪問會談を遂げた、同大使は二十二日午後五時南京發列車で歸滬の豫定である

河南一帶に集中せる 中央軍の狀況

蔣介石は北支に對し武力的行動に出ざる旨聲明したるに拘はらず祕かに河南方面に尨大なる兵力を集中しつ﹆あり、十二、三日より二十日迄に河南一帶に移駐せる中央軍の狀況は左の如くである

一、隴海線以北地方
　彰德獨立三十五旅、新鄕四十五師
二、隴海沿線
　歸德八十三師、開封二師及六十一師、鄭州十四師及四師、洛陽及以西鐵道沿線二十五師、六十七師、九十四師
三、隴海線以南地方
　周家口新編五師、信陽百十二師（一部陝西に移動中）九十五師、商城百十五師

尙目下河南省へ移駐中のものは左の如くである

一、湖北及湖南西部より二十七師、三十師及三十一師
二、貴州より河南に移駐豫定と稱されるもの四十七師、五十四師
（イ）從來より河南省に在りしもの光山附近、百五師、汝南、正陽、息縣附近騎兵七師の第十四旅、南陽附近三十師
（ロ）新に河南湖北に集中のもの四十九師江西省より十四日以來漢口に集中し廿日迄に平漢線にて河南に北上す
（ハ）貴州より漢口に集中し廿日迄に平漢線にて北上せるもの百二師、百三師
（ニ）湖南省西北より漢口に集中中のもの廿八師、八十四師
（ホ）四川省より漢口に到る豫定のもの百四師、百六師

又他の方面よりの情報によれば左の如くである

一、十八日鄭州に南方より五師並に鐵甲車隊來り飛行場も出來偵察機廿三臺を有す
二、徐州には兵一萬、山砲四門、憲兵一團あり
三、海州には特稅警察隊千二百名、輕砲四門
四、河南省主席は人民所有の小銃廿萬挺を集む
五、舊東北軍は中央の命により一部を山西省に移駐し隴海、平漢は目下之を準備中

川島陸相參內 定期異動の勅裁仰ぐ

【東京國通】川島陸相は廿二日午後二時宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ、廿一日の三長官會議で決定した十二月定期大異動に就き委曲奏上、勅裁を仰ぎ種々御下問に奉答して御前を退下した、その結果同日夕刻異動內命が發せられ十二月二日附を以て正式發令される事となつた

陸軍定期異動 內命下る

【東京國通】陸軍十二月定期異動は廿一日の三長官會議に於て正式に決定したので陸相は廿二日宮中に參內、上奏御裁可を仰いだ上速刻內命を發した

なほ右正式發令は十二月一、二日頃行はれる筈であるがその中主なるもの左の如し

近衞師團長　中將　鳩彥王
第四師團長　中將　稔彥王
補軍事參議官（各通）
朝鮮軍司令官　大將　植田謙吉
臺灣軍司令官　大將　寺內壽一
東京警備司令官兼東部防衞司令官　大將　西義一
補軍事參議官（各通）
明野ヶ原航空學校幹事　航空兵大佐　若竹又男
技術本部第三部長　砲兵大佐　小須田勝造
下關重砲兵聯隊長　砲兵大佐　木全良雄
任陸軍少將（各通）

工藤書記生

駐滿大使館書記生工藤敏次郞氏は今回山城鎭領事分館主任に榮轉、來る二十五日午前九時發〝はと〟で家族同伴赴任の豫定

北支問題で 英米政府對策打合せ

【ロンドン廿一日發國通】英國政府は北支那の情勢に關し深甚なる關心を有し既に米國政府との間に對策に就き打合せを遂げた模樣であるが大體次の方針をとるものと解さる

一、支那國內の不安を鎭靜せしめ平和の維持を圖る
一、時局安定の方針の下に各國政府は平和的に各自國の合理的權益を協議すること
一、刻下の情勢に於て條約を援用し日本政府に對し何等かの申入れを提示する意向は全然ない

民衆デモに對し 武力的抑壓

【天津廿二日發國通】既報の如く自治促進を要望する民衆が二十一日市商會に集り一部は市內にデモを開始し市政府公安局に向つて請願せんとしたが程克市長、劉玉書公安局長はこれが爲か市內各要所に機關銃を据え或は便衣隊をして潛入せしめて此運動に對し武力的暴壓に訴へ民衆は已むなく開散するに至つた、目下民衆側は此種善意の自治運動を妨害するとは時節柄不謹愼も甚しいとして市長、公安局長に對し不滿の聲高くなり不穩の空氣を醸してゐる

蕭、秦を招致

【北平廿二日發國通】蕭振瀛秦德純兩氏は廿二日朝宋哲元氏の招電に接し天津に向つた

韓復渠氏と會見

【濟南廿二日發國通】松井大將は廿一日飛行機で濟南に到着した、二十二日韓復渠氏と會見を行ふ筈

日本の同意なく 對外借欵は絕對にせぬ

蔣、有吉大使に言明

【東京國通】二十日の南京に於る蔣介石氏、有吉大使との會見に於て蔣介石氏は借欵問題に關し支那側の意向を左の如く言明した

幣制改革は國內事情已むを得ず實行したものである、借欵に就ては今後とも日本の同意なくして行ふ意思は毛頭ない

南京會見の公電と 政府の訓電方針

【東京國通】蔣介石氏は廿日の有吉大使との會見席上左の如き提言を爲した旨廿二日外務省に公電があつた

一、北支の自治運動取締り、自治宣言の中止を條件に廣田外相の對支三原則を全面的に承認す
一、國民政府としては右三原則に北支の解決を含めた辦法を考慮してゐる
一、之が爲近く日本に充分權限ある人物を任命派遣して隔意なき意見の交換を遂げたい、以上につき帝國政府に傳達ありたし

然し乍ら右の人物並に交涉の場所、日時等に就ては全く觸れず然も解決辦法をも提示してゐない、右に對し帝國政府は外務、陸軍協議の上有吉大使に訓電する方針と解されるが

一、我方としては支那側が北支民衆の運動を日本の示唆によるものなりとの前提に立つてゐる事は認識不足も甚しく、問題の解決は期し難い、此點を更に明白にする要あり
一、北支問題の解決を含めた廣田三原則の承認といふが北支が滿洲國と接壤地域で

日本製鐵社長に 吉田大將を推薦

【東京國通】大日本製鐵社長候補に關しては種々噂があつたが前滿洲電業公司社長吉田豐彥大將を推すことに決定、川島陸相は廿二日閣議前岡田首相と會見、同氏を推薦した結果近く正式發令を見る筈である、尙後任電業公司社長は未定である

宋哲元氏の決意愈よ固し 天津で自治派要人と會見

【北平廿二日發國通】天津に於る宋哲元氏は廿一日夜自治派要人と某所に於て會見自治運動の達成に就て重要協議を爲したが席上同氏は初期の目的は飽くまで貫徹すると決意を披瀝した、然してこれは河北省を中心とする自治政權樹立であり敢て他省將領の參加を求めず自己の信念に向ひ邁進し南京に於る日支交涉に對しても飽くまで自主的立場を主張せんとするものである

英の勢力驅逐を 廣西、廣東派狙ふ

幣制改革で民衆の損失 實に一億元に及ぶ

南京政府の今回斷行せる幣制改革は北支をはじめ支那全土に呪の的となつてゐるが之が西南地方に及ぼせる

結果 は徒に良民をして塗炭の苦しみに喘がしめるのみである、香港に於ける今回の平價切下により在香港英國系銀行は居乍らにして約八千萬弗もの巨利を占めたがこの爲英國系舊紙幣を所持せし南支五萬民衆の損害は少くとも一億元に及ぶものと觀られてゐる、しかも一方銀の兌換禁止により南支民衆より狩り集め保管せる巨大の現銀を香港に輸送轉賣し、更に暴利を占めたる英國系銀行の行爲は當に白日の下に於る强盜行爲である加ふるに輸入物價は三割乃至四割の昂騰を來し大部分の生活必需品を輸入に俟つ南支民衆の損害は更に大なるものがある、以上の如き

西南 に對する無慈悲なる行爲は人道上默視し難く廣西、廣東當局は財政自衞のため策を巡らし一擧にして英國の勢力を驅逐せんものとその動機を狙つてゐる

カイロ市民 總罷市を斷行

【カイロ廿一日發國通】學生團を急先鋒とするカイロ市民の英國反對運動は容易に終熄せず、カイロ市民は廿一日を期し總罷市を斷行した、エヂプト政府は情勢の重大化を懸念カイロ全市に五千の警官隊並に軍隊を配置して嚴重警戒に當つてゐるが學生示威團は遂に暴徒化し休業を肯じない店舖や電車に投石警官隊と衝突するに至つた、首相ネシムパシャ氏は警官隊に對し示威團に對し絕對發砲せぬ樣命してゐる爲警官隊の活動思ふ樣にまかせず右衝突で警官隊七名は負傷した一方學生團からは五十名の檢束者を出した

（前段より）あり共產黨防止を宣言してゐる見地よりするも當然三原則の主旨に包含されたものであり、且つ之れがその最初の具現でありとせば北支の自治運動を鎭壓するの取締るのといふ理由なし、而も右が支那人の完全なる自治運動に於てをや

一、帝國政府としては要するに支那側が北支武將の切崩し運動を活潑ならしめんとする不純なる底意より出發せるものなりと認めざるを得ないが事態の遷延は到底許さず速に解決辦法の具體案提示を要求することとなららう

陸海外出先當局 上海で重要打合せ

【上海廿二日發國通】有吉大使と蔣介石氏の會見は日支關係の將來に重大影響あるものとして重視されてゐるが未だその內容の詳細が不明なる爲何れとも見透し不能狀態であるが我陸海外出先當局は昨二十一日午後三時半大使館に集合右會見につき重要打合せを行つた

シベリヤを縱斷する 三幹線を建設

【奉天國通】當地某機關に達した情報によれば、ソ聯では五ケ年計畫の進行と共にシベリヤ地方開發並に國防上の見地からシベリヤを縱斷する三幹線鐵道を敷設中である即ち

一、ハバロフスクから樺太對岸のコンスタシチフスクを經てニコライエフスクに至る
一、ウエルフネチンスクより庫倫に至る
一、ヘルネフチンスクよりベーリング海のアナヂル灣に至る

人事往來

▲青木一臣氏（關東局高等課長）二十二日午後發奉天へ
▲酒井碩二氏（四平街警察署長）同四平街へ
▲中川義治氏（公主嶺警察署長）同公主嶺へ

航空往來

▲草部孝次郞氏（ハルビン官吏）二十二日午前ハルビンへ
▲有富光門氏同
▲札元彌六氏（チ、ハル）同
▲弓場常太郞氏（大連請負業）同ハルビンより
▲小林雅二氏（東京）同
▲高橋龍氏（新京會社員）同午後奉天より
▲杉浦晋作氏（北滿工業會社員）同ハルビンより
▲村井貞清氏（新京金融會社）同チ、ハルより

一言

有吉、蔣兩氏の會見をよそに北支の自治政權運動白熱化す、構ふところはない、既定方針に基いてどん〱進むべきだ▼北支を救ふものは結局北支人じやなくてはならぬ、手前勝手な南京政府の言分なんぞは空吹く風と受け流して置けば、萬事は安泰だ▲囂々たる反對に脅えて英國の對借欵立消えの樣子とはさもありなん、この上日英關係が惡化すれば元も子もなくなるが必定▼それとわかれば一刻も早く身を退くに如くはない、リツトン卿ならぬリースロス君に忠告して置く▼地委聯合會本部の新京移轉に奉天側に難色ありとも傳へられる、別に奉天の景氣不景氣にか﹆はる程の重大問題でもあるまいし、强氣で頑張る筋合でもないはず▼要は誰が見ても適當と思ふところ、敢てわが新京へとはいはない、どこへでも御勝手になさつしやい

社説

「聯省自治」とその現代性
內政の一主張が東洋の大運動へ

一

世界すべての事象が刻々に動いて行く。人々は兎もすれば、その眼前の出來事のみに眼を奪はれ勝ちである。支那に於ける出來事についても同樣だ。華北數省が依然中國の主權を尊重しつゝ、南京政府の支配統制下から離脱しようとする。それは新しい華北政權の樹立であることにみぢんも間違ひはない。しかしながら、この出來事が、われらの眼に映る感じと、支那數億の大衆に感ぜらるゝ度合ひとは必ずしも同一でないことを筆者は指摘する必要を認める。

二

滿洲國の創建は、これはまさしく、新たなる一個の獨立國の生誕であつた。が、新しい華北政權――華北聯省自治防共委員會の組織の成立は、滿洲國の場合とはかなりに相違した事情のもとに遂行されるものである、このことを特にわれらは今はつきりと理解して置く必要があると思ふ。

三

筆者は先づ、「聯省自治」といふ言葉は、すべての中國人にとつて、かなりの昔から聞き慣れた言葉であることを指摘したいと思ふ。それは、支那の近代史に於いて、簡單に言ふならば、中央集權とそして地方分權と、この二つの政治の方法論の爭ひがあつた時からの、後者分權主義の一手段として叫ばれ來つたイズムでありイデオロギーであつたのである。今次の華北新政權は、或る意味に於いてこの舊來の聯省自治主義の復活であると言へる。從つてそれは又近時の西南派の動向にも通ずるところがあると考へられる。そして江南數省をいま死守せんとし、融通自在的な外交策を弄するかに見え、また支配階層の利益本位の經濟政策を無理強ひに行へる南京政府並びに黨軍のブロックに聯露容共へと傾かんとする氣配さへ認められるとき、華北自治政府が、世界を貫き殊に近來アジアの中央部に赤い線を引こうとするコンミンテルンの工作に對立し、儼然とわれらの東洋を守り、東亞諸民族の興隆と共存共榮に協力せんとする、日本及び滿洲國のコースと同一方向に立つてゐることの意義の重大さをわれらは知らねばならぬ。

四

「聯省自治」―それは曾つては、支那といふ國の國內政治だけに關する一主張であつた、それが今、筆者が上來記述した如くに、同じ言葉を以つて呼ばれつゝ、ただそれに赤化反對といふ、共産主義反對といふ意味を附加することによつて、それは世界的規模にまで擴大される意義ある運動となつてゐるのである。ここにこそ、情勢の變化である歷史の進展がある。

日加通商貿易への我態度決定へ
―廿五日小委員會を開催―

【東京廿二日發國通】カナダ新政府は自由貿易の建前より日加通商貿易調整に關し改訂の意向を有し既に在カナダ加藤公使との間に交渉を進めつゝあるが、我大藏省では廿一日午後關稅調査會幹事會を開き大藏、外務、商工、農林、拓務、對滿事務局各關係官出席の上カナダに對する報復關稅撤廢に關する件を附議、種々協議を重ねた結果、先づ小委員會を設けて態度を決定することゝしその第一回小委員會を來る二十五日開催する事となつた、右委員會で審議の對象となる點は左の諸點とされてゐる

一、カナダに於ては我對米爲替相場基準を四十弗乃至四十五弗とし過重なる爲替ダムピング稅を賦課してをり日本としては今後これが基準を三十五弗見當に主張すべきである

二、カナダでは我國製品に就て公正なる評價を行はず、或る商品に就て四十倍の評價の下に課稅するの暴擧を爲して居りこれが是正を期すること

三、カナダでの對日再報復關稅中止を圖ること等につき滿足なる解決點を得なければ對カナダ報復關稅の撤廢乃至緩和の途なしとして居る

フラン貨の切下げは考へられぬ
―爲替銀行筋の見解―

【東京國通】度々危機を傳へられたフラン貨は又復新たなる不安に襲はれ平價切下げ近しと傳へられ、金の國外流出が激增してゐるが、我爲替銀行では玆當分平價切下げの如き事はあるまいと觀てゐる即ち

今回のフラン貨が不安視されるに至つたのは、フランスが對伊經濟制裁に參加した事からイタリーとの貿易が殆んど杜絕し、同國の國債收支を惡化せしめてゐること

更に重要原因としてはラバアール首相に與へられた財政獨裁權が今年中に期限が切れて之が再獲得が甚しく危ぶまれ從つてフランス財政の先行きが不安視されるに至つたこと等に基くものであるが假令一部に平價切下げが主張されてゐるにしてもこれ位の事で永年培はれ殆んど其信仰に迄なつてゐるフランス國民のフラン擁護が直ちに崩れるものとは考へられない、愈々支へ切れないといふ最後の土壇場に來る迄は多少の苦痛を忍んでも平價切下げの擧に出る事はあるまい

諸株一段と好調を加ふ

【東京國通】金融事情の樂觀、事業界の好勢持續、商品高、明年度軍事豫算の膨脹等を期待して買氣を加へつゝあつた株式市場は一段と好調を加へ新東は最近の高値を突破して百七十三圓五十錢と新高値に引けその他電力株、砂糖株界も漸次全面的に好調を示して居り、一部强氣の策動は完全に效を奏し、買氣は著しく旺盛になつて來た

馬蘭峪は滿洲國領土

峪長城線馬蘭峪は滿洲國領土であり停戰地區でないに拘らず最近日本人にして支那側に利用され同地方の金鑛採掘を爲し支那官憲と交渉日支合辦にて經營せんと企圖しつゝあるが右に對し日滿當局に認識不足の甚しきものとし場合によつては適當な措置に出でんとしてゐる

各新聞社一齊に發行を停止
カイロに又暗雲

【カイロ廿日發國通】カイロ市に於るアラビア語各新聞社代表は二十日聯合會議の結果ネシム・パシヤ首相の新聞報導制限令に斷然反對を決議、二十一日を期して一齊に新聞の發行を停止するに決した、更に埃及人商店、事務所等も二十一日は一齊に休業閉店するに決定、埃及人の辯護士團も裁判所をボイコットすることとなり、カイロ全市の形勢は再び重大化するに至つた

XXXX・XXXX

皇道義盟の主催で日滿親善滿洲大會
廿四日新京大會、於公會堂

XXXX・XXXX

東亞の時局は將に世界的に益々重大性を加ふるに至つた今日いよいよ日滿親善の强化を期しもつて東洋平和建設の一助に資する目的で今度皇道義盟主催で日滿親善滿洲大會を各地で開催、ハルビンで二十六日、大連で二十八日新京では來る二十四日午後六時から記念公會堂で大會を催す、大會の順序は

一、開會、一、日滿國旗に對し最敬禮、一、司會者挨拶、一、議長選擧、一、就任挨拶、一、書記任命、一、宣言朗讀、一、決議、一、來賓祝辭、一、後援團體代表祝辭、一、主催團答辭、一、閉會

終つて記念講演會に移り日滿兩陛下の萬歲三唱、閉會の豫定にて記念講演會では民政部大臣呂榮寰氏、文學博士鹿子木員信氏、關東軍參謀花谷中佐同田中中佐、特務機關細木中佐などの講演がある、尙同大會には地方事務所、協和會市政公署、その他多數團體が參加する

老梯子匪を殲滅
滿洲國軍殊勳

【奉天國通】當地領事館警察入報によれば十九日阜新縣城南方三十五滿里の地點白眞溝に於て滿洲國軍第四十團及び第二十四團は老梯子匪と遭遇激戰の後匪首老梯子、六合、天下好を夫々射殺、敵は百餘名の死傷を出し潰走した

滿鐵天津事務所
職制及び人事發表

【大連國通】滿鐵の北支經濟工作に備へる天津事務所の職制及び人事の任命は廿一日左の如く發表された

一、天津に天津事務所を置く

二、天津事務所は總裁直屬とし

イ、一般に涉外に關する事項

ロ、調査に關する事項

ハ、特に命ぜられた事項を司る

三、天津事務所に庶務課、調査課を置く

之により天津事務所開設により從來總務部に屬してゐた北平事務所は天津事務所の管轄內に置かれた外多倫、綏遠、張家口、太原、濟南、青島、鄭州の七ヶ所に在勤員を置き事ら涉外調査を行ふ事となつた、尙天津事務所の開設により經濟調査會第六部は廢止されその所管事務は天津事務所に引繼がれることとなつた尙人事は左の如し

總務部天津在勤參事　太田雅夫
天津事務所長を命ず
同　參事　神崎登
天津事務所調査課長を命ず
元經濟調査會第六部主査　野中時雄
同庶務課長を命ず
同天津在勤事務員　北野桂一
同經理係主任を命ず
總務部天津在勤事務員　市川綸
同資料係主任を命ず
元經濟調査會第六部事務員　酒田健吉
同調査係主任を命ず
北平事務所濟南在勤事務員　河野通一
同庶務係主任を命ず

濱綏線ヤ林區
近藤林業公司で委任經營

【ハルビン國通】近藤林業公司經營にかゝる濱綏線ヤブロニー林區（面積約卅萬町歩）は同公司の通匪事件で去る十月十六日伐採停止命令を發せられて以來約一ヶ月に亙り後任經營者の選定問題を續つて行惱みの狀態となつて居たが結局總局の手で向ふ一ヶ年間委任經營に當るに決定した、尙哈鐵產業科では廿日午前札免公司若木恕助氏を新支配人として現地に派遣愈々採伐に着手することゝなつた

滿洲國の度量衡と計量の單位（五）
權度局企畫科長 高橋文夫

四、メートル法

メートル法は國際メートル法でなく日滿經濟提携と云ふ點から日本に於て採用したメートル法其の儘を滿洲國に於ても採用致しました

メートル法各單位の文字は日本の略字をそのまゝ採用しましたので滿洲人には全く新しい文字ですが讀方は例へば瓩をキログラムと讀みます爲反つて在來の字を用ひますより覺へ易く又更に日滿同一文字でありますことは日滿經濟提携上最も効果あるものと思はれます

五、計量の單位

前述の如く日滿同一の單位とする爲計量の單位は日本度量衡法及電氣測定法中の計量單位を出來得る限り其の儘計量法に定義しましたが更に多少の變更をしたり現今實際上多く使用されて居る單位を新たに追加したのであります、日滿計量單位の重な相違點を述べますと左の通であります。

一、壓力の單位に大氣壓の測定に用られます水銀柱耗及工業上多く用ひられます水柱米を追加したこと

二、熱量の單位として零度から百度迄の平均カロリーを採用したこと

三、工率の單位は日本度量衡法ではキロワットでありますが電氣測定法の電力の單位をも採用しましたのでワットを採用したこと

四、電力の單位は日本と同樣國際單位を採用しましたが同時に絕對單位も採用して居ますので之と區別する爲國際の文字を頭に付け國際ワットとしたこと、然し實用上には絕對單位と國際單位とは同一の大さと看做して差支へありませんから國際ワットはワットと稱することを得と云ふ一項を加へまして日本同樣に使用出來ることにしましたこと

五、電氣仕事も電力と同樣國際ジュールを採用したこと

六、周波數の單位を新に加へたこと近時無線通信の發達の定義が必要となりましたので現今多くの國に於てサイクルを採用して居ますからサイクルを單位と致しました

七、照明の問題が近時やかましくなつて來てゐますから照度の單位ルクスを新に採用しましたこと

大連交通安全協會
廿六日發會式

【大連支社發】交通機關のスピード化は引いて交通地獄の出現となりこれが防止策の爲に結成された大連交通安全協會はその事業に對し兎角の非難を受けてゐたが今日關東州交通安全協會を設立し會員には百般の交通機關業者を網羅し實質的に協會を强固なものとなし交通安全の爲本質的な活動を爲すことになつたが之が本部は州廳保安課に置き各警察に支部を設置する筈でこの二十六日大連警察署に於て華々しく發會式を擧行することゝなつた

大タク友愛會結成に波瀾豫想

【大連支社發】全大連に於けるタクシー運轉手組合結成に關し有志の間で潛行的運動を試みてゐたがそのスローガンは吾等の生活權擁護の爲團結せよと云ふにあるらしく明春改正さるゝ自動車取締規則の實施に先だち緊急實現の必要ありとし各方面に働きかけてゐるが大タク從業員側では勞資協調の旗幟のもとに既に四百數十名を以て大タク友愛會を結成、會の基礎も出來てゐる際、勞働團體と目さるゝ運轉手組合に加入することに對しては多少難點がある模樣であるが斯くては組合組織の意義をなさないので友愛會の切崩しを行ひ全大連運轉手の糾合に邁進するものと見られ結成までには相當波瀾を招くものと見られてゐる

王道學會詩經學講義

十一月廿四日（日曜）午前十時ヨリ新京記念公會堂第二集會室ニ於テ

主催 王道學會
後援 新京日日新聞社

比島訪問の使命を果し
大每機臺北着

【臺北國通】比島獨立祝賀の使命を果し天候恢復を待つて廿一日歸還飛行の途に就いた大每機は午後二時二十七分無事臺北飛行場に着陸した、一泊の上二十二日內地歸還の途に就く豫定である

かりがね號無事臺北着

【臺北國通】日支親善の重大使命を帶びて福州に使したかりがね號は廿一日午前十一時二十分福州發午後零時二十分臺北飛行場に歸還無事使命を果した

名古屋ホテル 本店 新京 支店 吉林 ハルビン 御旅行と旅館は

商況欄
（十一月廿二日後場）

金銀市況

●上海標金 前引 二五六、五〇 本寄 二五六、七〇 歩 五八、五〇 五九、〇〇

●大連金鈔 寄付 一〇八、六〇 引 一〇八、七五 高 一〇八、九〇 安 一〇八、五五 出來高 一五萬

▲十二月二十八日限 十二月十三日限 寄付 一〇八、八〇 歩 八、八五 八、七〇 八、八五 八、八〇 八、八五 八、九〇 八、九五 八、八五 八、九〇 引 一〇八、九〇 高 一〇八、九五 安 一〇八、六〇 出來高 九萬五千 出來 不申

現物 ●大連鈔票銀大洋 一四四、一〇 一四五、八〇

現物 ●奉天國幣金票 一〇〇、〇〇 一〇〇、〇〇

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回賣 一〇四、〇〇 第二回賣 一〇五、〇〇 ▲倫敦向 第一回賣 一志二片一六分九 第二回賣 一志二片二分一 ▲紐育向 第一回賣 二九弗一六分二 第二回賣 二九弗一六分三

大連爲替 ▲上海向 九五、八五 九五、九〇 九五、八〇 九五、七五 九五、七〇 九五、七五 九五、八〇 出來高 一二萬 ▲煙台向 九六、〇〇

株式相場

▲大連株式（短期）寄 引
滿鐵新 [illegible] 東新 [illegible] 豆新 [illegible] 大品 [illegible] 五品 [illegible] 豆甲 [illegible] 電乙 [illegible]

新京取引所市況
（十一月二十二日後場）

現物（一石値段） 定期（混合百斤値段） 寄 引

先物 大豆 十二月限 一月限 二月限 三月限 高粱

鈔票對金票 二十八日限 十三日限 寄 引 出來高

國幣對鈔票 二十八日限 十三日限

手形交換（廿一日）金票 鈔票 國幣

鮮魚小賣相場
百匁ニ付（二十一日）

品名 最高 最低

活タイ 氷タイ チヌタイ 連子鯛 アマタイ 中小タイ ブリ カツオ ヒラス サワラ サバ アヂ カレイ ヒラメ ボラ コチ コノシロ キス イワシ ムツ アコウ サヨリ サンマ マナカツオ タチウオ カナ頭 グチ ホーボー タコ イカ 水イカ イセエビ エビ アナゴ カマボコ ナマコ アイナメ シヂミ カキ マグロ切身 ニベ ブリ サワラ [illegible]

各地市況

滿鐵 東拓 日魯 滿興 滿毛 二新 優先 [illegible]

▲橫濱生糸 前場引 後場寄 當限 先限

●哈爾濱大豆 十二月限 一月限 二月限 出來高

●同小麥 十二月限 一月限 二月限 出來高

▲神戸豆粕 十二月限 一月限 二月限 三月限

ラマ教の概念に就いて（五）

五、ラマ教の年中行事

△廟法會

ラマ教に於ける年中行事の最も盛んであり最も廣く膾炙されてゐるものは舊の六月一日より十五日まで引續き行はれる廟法會を擧げねばならぬ、廟法會とは廟に於ける最大の法會なるが此の名を得たのであらうが西藏語ではホンラム蒙古語ではイロールで何れも祈禱會祈願の意である

此の祈禱會には諸厄滅除し國家は安穩に、諸人は今世に快樂し、尚未來五十六億八千萬歳の後彌勒下生の曉には共にその國土に生れん事を祈願するのである、抑々此の法會の因緣には次の如き傳説がある昔印度に於る一寺廟建立に際し、酷使せられし牛精が九世紀の西藏王朗達摩に轉生し大いにラマ教を迫害した之を歎きてファーシヤジャルボ（蒙古語ガシヤンハーン）朗達摩を殺害したのであるが彼の精は再び水精となり寺廟を浸し諸災を引起しむるに至つたのでラマ教徒は出來る丈け醜鬼なる面相にて一大示威運動を成したる處漸く水災を免るゝ事が出來たと言ふ、若し之を年々行はない時は水災、火災饑饉、疫病等が相次いで起り安寧なることを得ないが故に之を年中行事として各寺廟に於て盛大に行ふことになつたと言ふ、期日は大體六月一日―六月十五日迄のやうであるが又七月に行ふ處もある

△燈明會

此の法會は名の如く多くの燈明を點じ行ふ法要である、黃教の開略宗喀巴の入寂は西紀一四一九年十月廿五日であるがそれを記念する爲め明德を讚嘆する爲め舊十月廿四日の逮夜には四百燈を點じ讀經奏樂を爲す廿五日の命日には二千五百燈を點じて同じく讀經奏樂するのであるが點燈の際は先づラマが永き棒の先に綿を卷き之に黃油を浸して火を點じ最上段に置かれてある燈明に點火すれば參詣の善男善女は線香に黃油を浸し之に火を點じ燈明に移し點じ次から次へと點じ了り燃え盡すまで見守り禮拜することになつてゐる

△嘛呢法會

期日は一定してゐないやうであるが多倫喇嘛廟に於ては東廟は舊七月六日より十一日まで西廟は十二日より十八日に至る各々一週間の間行ふことになつてゐる大殿の中に千手千眼觀音を祀りその前にボンパと稱する眞鍮製の人頭大の球形の蓋ある瓶を置き中に粟粒大の赤き粒種を少しく入れて置く、此の瓶に五色の絲を連絡し之を綴りて上席ラマがその端を持し一般大衆は聲に「唵嘛呢叭迷吽」の六字の名號を唱へ五色の絲は一週間交代にて日夜持し手離すことを得ずと云ふ大衆は一週間精進にて肉類を食せぬ、又法會中は參詣者も堂內に入ることが出來ないかくて一週間の後には嘛呢の粒種は增加し件の瓶中に充滿するに至る、參詣者は布施をなし、その幾粒かを得て萬病の藥とするわけである多倫にては昔時ラマ千人參詣者一萬を算したと云ふから相當の盛大さを見せたやうである

東滿

吉林官消設置阻止斷念・協調へ
商人側、取扱品に希望開陳
官消の讓步を期待

【吉林國通】吉林に於る官吏消費組合設置問題は既報の如く創立委員會側と商人側との妥協成らずいよいよ本月末迄には開設を見る豫定であるが右通告を受けた商人側では直ちに幹部間に於て鳩首協議を重ねこれが對策、善後處置等につき研究を進めたるも結局「事態斯くなる以上官吏消費組合設置の阻止は到底覺束なく從つて今後從來の阻止運動を打切り官消側が三十年來幾多の難關を切り拔けて漸く今日の地盤を築き上げた我々商人を自滅させるが如き高壓手段に出でざる樣協調すべきである」といふに意見の一致を見先づその第一着手として官消側の取扱品目が新京に於ける官消組合と商人との間に協定された品目を基礎とする意向なるも吉林に於ては必らずしも新京の協定に追隨する必要はなく吉林獨自の立場から新協定をなすべきであるとの見解を抱き本月森岡總領事を通して右要求を提出するところあつた、これに對し相當强硬態度を示しつゝある官消側が如何程の讓步をなすか極めて注目される問題である

尾高司令官招宴

【敦化支局發】過般來の大討伐につき戰鬪司令部を敦化に異動駐屯し、日夜麾下將兵を激勵し、治安討匪工作上幾多赫々たる功績を擧げたる第二獨立守備隊司令官尾高少將は今期の大討匪も本日を以て一旦終了したるをもつて、當地住民の後援を謝し、合せて着任の挨拶を兼ね廿日午後六時より料亭若松に官民多數を招待し、席上懇なる挨拶をなし草野副領事官民を代表し謝辭を述べ歡談盡きず午後九時閉會した

尾高部隊討匪狀況

【吉林國通】二十日尾高部隊討匪狀況左の通り

△松井討伐隊瀧口大尉以下〇〇名は二十日午後三時四十分京圖線黃泥河驛西北方九キロ附近に於て綠林好匪十八名と交戰之を潰走せしめた、敵の遺棄死體一、小銃一挺、彈藥七十九發鹵獲、人質一名を奪還

△同討伐隊小澤中尉以下〇〇名二十日午後二時半頃京圖線大橋驛南方九キロの地點に於て共匪、土匪の合流匪約六十と交戰、約三時間の後南方に擊退したが、此の戰鬪に於て我が一等兵長瀨實君は頭部貫通銃創を蒙り名譽の戰死を遂げた、敵の遺棄死體十五

△板津討伐隊松前部隊は十九日夜半大浦財河東北方約五キロの地點に於て小匪團を擊滅後更に翌廿日午前八時同地東方十粁に於て共匪は三個の死體を遺棄して敗走、鹵獲品小銃一、拳銃二、彈藥一一三發

△玉樹川守備隊淸水中尉以下〇〇名は廿日午後二時半より同地西方六粁、七二三高地に於て陣地構築中の匪團五十を攻擊之を西北に擊退したが此の戰鬪に於ても又尊い犧牲として、一等兵鈴木平次郎君は名譽の戰死、（左下腹部貫通銃創）を遂げた、敵の被害分明せず

△太平川分遣隊村內曹長以下〇名は同地警察隊十名を併せ指揮、廿日午後四時玉樹川北方八粁七一二高地にて五十の匪賊と交戰南方に擊退、我に損害無く、遺棄死體三

△坂口討伐隊荒武部隊は十九日午前十一時老金廠（樺甸縣）東南十二粁に於て周太平匪八十を攻擊々退、敵の遺棄死體三、馬一頭を鹵獲した

要人暗殺計畫中の不敵三人組逮捕

【圖們國通】最近奧地方面に於る討伐工作の進展で四散した匪賊中には追跡の眼をかすめて良民を裝ひ附近接續都市に潛入する氣配あり之れが取締りのため在圖警備機關は不斷の嚴戒をつゞけつゝあるが十一月十四日滿洲國第八區警察合水坪駐在所員が合水坪部落を巡回中擧動不審の青年三名を發見誰何せしに、何れも小型短銃を懷中せる爲、有無を云はせず逮捕、身柄を圖們憲兵分隊に送致、嚴重取調べたる所前記三名は

原籍　山東省抗州府州縣
住所　汪淸縣春耕鄕李部碚子
孟照明（二四）
同　馬永（一九）
琿春縣德孟郡東崗子　鄭文學（二一）

といひ、圖們在住要人拉致の爲、孟照明を特務隊長として去る十月三日志仁鄕望海營松嶺北方約三里の根據地を出發、合水坪裏山の炭燒小屋に潛伏こゝで日々交互に良民を裝ふて圖們市內に潛入、市內警備機關の動靜や之れが取締りの狀況を探索し要人暗殺の機會を覘てゐた東滿特委隸下の暗殺特務隊員なる事が判明

北滿

壯烈無比の火戰
古谷少佐等の勇戰
趙尙志匪第二團を殲滅

【ハルビン國通】去る十五日濱江地區横山部隊は趙尙志匪第二團を擊滅し團長王惠堂を逮捕したが右戰鬪に於て戰死を遂げた同隊所屬の古谷部隊長始め三名の尊き犧牲者の勇猛果敢な戰鬪振りが判明するにつれ將兵は勿論聞く人をして感激せしめてゐる

◈……◈

當時敵匪は我軍の包圍攻擊に遁走の路を失ひ殘餘地形特に岩石を利用して頑强に抵抗したので玆に於て古谷少佐は射擊の效なきを認め突擊するに決し「皆覺悟はよいか、中隊長と一緒に死ぬんだぞ」と絕叫し眞先きに敵陣に突入、忽ち敵彈の爲め腹部を貫通せられたが剛毅不撓の少佐は內臟が外部に露出するも怯まず最後まで部下を督勵し敵を完全に擊滅した、戰終り歸途に就いたが呼吸漸次逼迫し遂に起つ能はざるを知り「部下の人事を宜しく賴む」と最後まで武人の本領を强く發揮せられ笑を湛へて瞑目したものである

◈……◈

これより先同地點に於て突擊準備を整へつゝあつた芹澤少尉は機熟せりと見るや猛然と立ち突擊を令しつつ最先に敵中に突入したが近距離よりの猛射を受け一彈心臟を貫きそのまゝ絕命した、これを見た戶塚上等兵は猛然として挺進し敵の側背に向つて突入し遂に敵彈に斃れたが勇敢な戰鬪行爲に部隊の士氣は益々揚り完全に敵を擊滅することを得たるのである

宣撫工作の一法として 愛護村大會 品評會開催

【チチハル國通】チチハル鐵路局では宣撫工作の一方法として甘南縣外四ヶ所に愛護村大會並に農畜產物品評會を開催、愛護村大會では匪情連絡强化、村民に對する村長の指導宣撫方法の教授、品評會では審査委員の審査報告によつて最優良出品に對し賞品が授與される筈で開催地は廿三、廿四兩日鄭家屯、廿七、廿八兩日白城子、十二月一、二兩日チチハル、五、六兩日克山である

川岸部隊長歸還

【承德國通】朝陽を中心とする南北兩地區の秋季大討伐を督戰せる川岸本部隊長は二十日午前十時官民多數の歡迎裡に朝陽より飛行機で歸承した

南滿

"道路を護れ"
全ての車輛には"タイヤを"
市衛生課で先鞭

【大連支社發】大連市街地の舖裝路面は內地都市に比して其の規模小さく寒冷と荷馬車による毀損の程度甚だ多き爲州廳土木課を始め市衛生課では舖裝路面維持新設には年々多額の費用を投じてゐるが、今度市衛生課では市役所の塵埃糞尿運搬車二百五十台の中百二十五台をタイヤ入のゴム車輪に變更し他に率先路面の保護に盡す事になり其の費用一台八十圓總額一萬二千圓を來年度豫算に計上した、「先づはその成績を見た上馬車組合其の他にも我等の道路を護れ」と廣く呼びかけ荷馬車、荷車も順次ゴムタイヤ車輪に變更し國際都市として恥しからぬ道路とし道路保護淸掃を完全にし都市美を發揮する筈である

中央卸賣市場開設三周年記念

【大連支社發】大連市營中央卸賣市場は二十一日が開設滿三周年に相當するので自祝の意をもつて同日正午同場內に於て祝賀會を盛大に催した

大連消防署防火宣傳施行

【大連支社發】大連消防署では市內各警察署、消防組、埠頭消防隊、火災保險協會の共同主催で、二十二日午前九時から今年度の防火宣傳を施行午前八時の警報により各消防機は消防本署に集合點檢官の服裝、機具の點檢を終り二班に分れてサイレンを吹鳴しつゝ「市內自動車巡行」につき宣傳ビラ、火防注意書、宣傳マッチ等を撒布し午後一時より連鎖街前空地に於て消防演習を行つた

關東州水產十周年記念

【大連支社發】關東州水產會創立十周年記念祝賀會は來る二十八日午前十時半から滿鐵協和會館で盛大に擧行されることゝなつた當日は右式終了後遼東ホテルで午餐會を催すことになり竹下水產會長の名を以て旅大の名士多數に案內狀を發した

まぎれ易い國幣の十錢白銅
朦朧運轉手が五十錢に惡用

【大連支社發】最近滿洲國の十錢白銅貨が州內に紛れ込みそれが朦朧運轉手に渡つて暗の中で日貨五十錢として客に摑ませると云ふ罪を敢て犯させてゐる、斯した被害を頻々と聞かされるが事實薄暗い電灯の下では全く五十錢と識別がつかないのだ、一圓札を出して三十錢の空車を値切つた積りでゐると豈計らんや七十錢の自動車に乘せられた結果となつてゐるのだ、客の不注意に因つて生ずる損害と云へばそれまでだが斯の如き紛らはしい貨幣は一日も早く改鑄して貰ひたいと市民間に叫ばれてゐるが、客自身も充分注意して惡運轉手から不當利得を貪られぬやう自衛手段を講ずる必要があらう、尙これが自衛手段としては五十錢銀貨を出すか、三十錢の精算拂とするかであるが紙幣を以て支拂ふ場合は耳のギザ〳〵の有無に注意し、若し斯の如き行爲を發見したる時はリヤープレイトの番號を警察に申告するやうとのことである

承德協和會縣聯合會開催

【承德國通】熱河省にある協和會各辦事所に於ては各附近縣にある協和會代表者の縣聯合會を開催することゝなり凌源辦事所にては去る十四、十五の兩日に亘り之れが開催を見たが、承德に於ては新京本部派遣の河谷組織部長の來承を待ち廿日午前十一時より同所會議室に於て在承各機關代表列席の下に盛大に擧行された、廿四日よりは赤峰辦事處にて開催の豫定である

奧地勇士にお小遣を節約

【奉天國通】春日、彌生、加茂、千代田、平安、高千穗、敷島各在奉普通小學校代表者が十九日午後獨立守備隊第〇〇隊を訪問、小田隊長の前に「奧地で寒さと戰ひ皇軍の爲に働いてゐる兵隊さん達を慰めて上げて下さい」とて去る十日より十六日迄の國民精神作興週間に兒童、教職員一同が學用品、車馬賃、御菓子、その他一切の御小遣を節約して貯めた八百二十二圓餘を贈つたが小田隊長は此の優しい第二國民の後援に痛く感激早速その手續きを執る事となつたが隊長は感激の面持で左の如く語つた

事變後既に四年を過ぎた今日稍々もすれば國民の銃後の熱意が冷めやすくなつて來た折、在奉各小學校の生徒さん達が眞心を籠めて慰めて與れたことは洵に感激に堪えない次第である、此の淚ぐましい第二國民の後援は必ずや戰地に於て日夜奮鬪しつゝある將士の士氣を更に上にも鼓舞させるだらうと信ずる次第である

九州匪歸順

【安東國通】安東省臨江縣下に蟠居し猛威を振つて居た匪首九州は秋季討伐に遇ひ全く改心歸順の意を表して居たが二十日午後部下八十を率ゐて同縣紅土崖工作支隊に正式に歸順し滿洲國に對し忠誠を誓ひ武裝解除を受けた、押收武器は小銃二七、拳銃一八洋砲一、彈丸二三二七發

年々激しくなる上級學校入學率

早くも受驗準備に惱む兒童

さて、今年の率は？

卒業はするけれど思ひやられる春の入學難には子も親もころになつてその心配に仕事も手につかぬ始末　兒童は受驗準備に幼い心を痛めるのである、さて三月の卒業兒童は室町、西廣場、白菊、八島四小學校尋常六年、高一、高二合せて男兒八百五十九名、女兒七百六十六名

兩方で

一千六百二十五名の多數にのぼつてゐる

そのうち一千十一名はみな上級學校受驗希望者である、然も白菊小學校の如きは男九十三名、女六十六名一名殘らず受驗すると言ふ激しい競爭ぶりである、之に對して在京中等學校（中學、商業、高女）の受驗者は現在のところ次の通りである

	（京商）	（京中）	（高女）
室町	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西廣	[illegible]	[illegible]	[illegible]
白菊	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

新學年

右の表に對して、中等學校の採用豫想數はどうかと言ふと、商業學校二學級の百五十名、中學校四學級の二百名、女學校は現在の新京高等女學校の分が三學級百五十名、第二高女の分二學級で百名、合計二百五十名の見當である、斯うしてみると各學校何れも既に新京の小學校卒業生だけで定員を超過してゐるのである、この上にまだ各沿線、朝鮮遠くは中華内地からも受驗者が押寄せて來ると受驗希望者は倍加するものと見なければならない、そうすると何れも五十パーセントの入學率しか豫想されない譯で、內地なんかと比べると勿論大した競爭率ではないが、この數字から見ても年々入學難は嚴しくなつて來るものと

容易に

想像はつき、親も子も何處かはらぬ惱みに苦しめられる譯である

家庭

ひび あかぎれ

惱むお方の豫防法

皮膚の清潔が第一デス

◇……しもやけ、あかぎれの豫防はとにかく清潔第一で次には血液の循環をよくする事ですから朝夕冷水で摩擦して血行を活潑にすると同時に皮膚の抵抗力を强めます。

◇……そのあとを乾いた柔かい手ぬぐひでよくふいて、クリームをつけて摩擦し、絶やさずに油性クリームを塗つておきます。もし凍傷に罹つたなら、くづれない中にアルコールであん法します。次にあかぎれが出來てしまつたら絆創膏をつけておきますと大抵治ります

◇……濕つたままに打ちやつておく事と、寒いと云つて急に冷たい手を火にあぶる事などは禁物です。

◇……大體ひゞ、あかぎれのきれ易い人は荒れ性なのですから、油氣を皮膚に絶やさない樣にすればよいのでクリームなりワセリンはいつも必要です、かういふ人は手足ばかりでなく顏も洗顏前にコールドクリームを一面に塗つておき暫くして石鹸を使つてぬるま湯で洗ふとよいです。

ラヂオ

けふの番組

（M・T・O・Y 新京放送局）廿三日（土曜）

新嘗祭

◎朝◎

六、三〇　建國體操（滿語）
六、五一　ラヂオ體操（東京）
七、一〇　入港船の御知らせ　氣象通報（大連）
八、三〇　子供の時間（東京）　ラヂオ世界見物（第八回）イタリヤ　遠藤愼吾
九、〇〇　記念講演（東京）　內務大臣　後藤文夫　農林大臣　山崎達之輔
九、三〇　講演（廣島）　日本神話に於ける親子關係と夫婦關係　文學博士　福島政雄
一〇、一〇　子供の時間（奉天）　童話　金香的鋤惡經過　王者風
一〇、四〇　清唱　二堂放子　老生　佩芝　火焚棉山　胡琴　何景武
一〇、五九　時報（東京）
一一、三〇　ニュース（東京）
一一、五〇　雅樂（東京）　宮內省樂部員　盤渉調・音取　一、蘇合香急（大曲吹）　二、蘇莫者破　三、劍氣褌脫（唐拍子）

◎晝◎

〇、二〇　室內樂（名古屋）　名古屋ストリング・クワルテット
〇、五〇　新人の午後（三回合格のもの）（東京）
二、〇〇　映畫物語　喘ぐ白鳥　村井昌郎
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）　引續き　ニュース
五、〇〇　子供の時間（東京）　うたのおけいこ　柴田秀子　一、佛法僧　赤澤佐以子作詞　吉原規作曲　二、アンテナの背くらべ　三苦くみ子作詞　加藤しのぶ作曲
五、二〇　コドモの新聞

◎夜◎

六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　今晩の番組　氣象通報　明日の番組
六、三〇　國民の時間（奉天）　協和會縣聯合協議會出席感想　撫順縣聯合協議會代表　邵寶文
七、〇〇　講演（奉天）　伊勢神宮の大麻に就て　滿洲神職會副會長　山內祀夫　侯青山
七、一〇　寄席中繼（東京）　神田花月　一、落語　鰻屋　金原亭馬生　二、流行歌吹寄せ　石田一松　三、落語　本膳　春風亭柳枝　四、萬才　千歳家今若　千歳家歳男　五、漫藥　今と昔　柳家三龜松

八、三〇　時報ニュース（東京）
八、四〇　ニュース、氣象通報（滿語）　番組豫告
九、〇〇　舊劇（奉天）　審水名票　二進宮　靑衣　多秋影　老生　于蓮客　花臉　閻瑞臣　場面　馬興乾　外五名
一〇、〇〇　北滿の時間（哈爾濱）（露語）　一、講演「勝利の旗の下に」ダヴイードフ　二、レコード　三、ニュース

落語、吹寄せ、漫才等 お馴染み高座の賑ひ

後七・一〇　東京神田花月より

今晩の演藝放送は新嘗祭の祭日氣分に賑かなお笑ひを點綴しやうと言ふ試み、東京は神田の花月からの寄席中繼であります。先づ落語には金原亭馬生と春風亭柳枝を動員し、流行唄吹き寄せには石田一松、漫才には千歳家今若、千歳家歳男のコンビ、最後の漫藝には柳屋三龜松を夫々動かして活潑な笑素を發散致します。

鰻屋　金原亭馬生

道で八つさんが、仲間の熊さんに行き會ひ、實はこれから一パイ飲みに行かう、この少し先きに鰻屋があるが、そこの店にこの間行つたが、一時間も二時間も待たせた上、鰻の丸燒きを食はせたんだそれで金を拂ふ段になると、そこの主人がいふに「いえ酒の代も貰りません。實は板前が病氣で休んでゐるので、手前が鰻をさくつもりでやりましたところが、よく行きませんので丸燒きにしてしまひましたので、お代はよろしうございます。」とこういふんだ。とところで今日、その店の前を通つたら板前がゐないから又酒が只で飲めるから行かうと誘ひ、熊五郎もその氣になり、二人でその鰻屋に來る。

さて座敷に上つて鰻の出來るのを待つてゐたが、何時まで待つても持つてくる樣子がないので、臺所へ二人でのぞきに行くと、主人が鰻と大格闘をやつてゐる。そのうち主人が鰻を持つたまゝ表へとび出して行くので、八さんが怒つて「オイオイお客がゐるのに何處へ出て行くんだ」と聞く、主人「さあ私にもわかりません、鰻に聞いて下さい」

本膳　春風亭柳枝

ある時、村の者が大勢庄屋の家へ集つて名主のところで婚どんの披露目に皆招ばれてるが、本膳の食ひ方を知らないから、どうしようと相談をはじめた。庄屋も自分も知らないから物識りの先生に聞かうと一同そろつて先生のところにやつてくる、物識りの先生は私も招ばれてゐるから丁度いゝ、一人々々稽古させても大變だから當日、何んでも私のする事を眞似なさいと敎へる。さて當日先生を先に立て順に役付いた者からならぶ。いよいよ本膳が出る。先生が汁碗の蓋をとると、一同順にとる。數十人が順に眞似てやるので先生はあまりおかしいのでくすりとわらつた。笑つたとたんに先生の鼻の尖つた所に飯粒が二粒ついた、これを見た一同早速眞似をはじめる。

先生は早く御飯を終つてしまはうと、里いもに手を出すと箸が塗箸なのではさまうとすると、つるつるとすべつて膳の上へいもが轉がり出した。そうすると一同いもを膳の上に轉がし出す先生は驚き「やめろ」といふため庄屋の横ッ腹を拳固でつくと、庄屋はこれも禮式と思ひ隣りの者をつく、順々についてゐるうち、一番終ひの人が立つて「先生樣この拳は何處へやるだね」

寫眞　上から寄席の柳屋三龜松、石田一松、春風亭柳枝

映畫物語「喘ぐ白鳥」

【後二時】

燒け出されたが元氣です 帝キネの村井昌郎君

村井昌郎氏は一昨年迄大阪の各映畫館に勤めて居られ同年九月頃渡滿大連西廣場中央映畫館に勤務後本年帝都キネマ開館と共に解說部に入つて活躍して居られた方です、不幸火厄に遭つて以來その名解說振りも聞かれぬ折柄、ファン諸君には懷しいものがありませう。（寫眞は村井昌郎君）

◇……◇

喘ぐ白鳥は加藤武雄原作新興キネマ東京特作品高田稔、伏見信子、高津慶子等の主演映畫です。

◇……◇

（梗概）多情多感の青年土方淸彦と杉浦明治とは同窓の親友だつた。父の病氣で卒業式にも出ずに歸省した杉浦の留守中、彼等二人の宿、夏繪の家には難題が起つていた。亡き父の遺した五千圓の負債をかたに夏繪は高利貸の手によつて某代議士に拉し去られたのだ。そしてそれは土方が在學中學資を出して與れた遠山代議士であつた。

遠山の娘榮子は秘かに土方を戀していたが土方の戀人を知り怒心頭に發し恐ろしい復讐を誓ふ。土方と杉浦は夏繪をめぐつて友情と戀とのジレンマに苦しむが夏繪を二人の永遠の妹として愛さうと誓約をかわす。だが夏繪と土方は？土方の慨憐、杉浦の煩悶、沒落した家と失戀の傷手に狂ふ榮子……

それから何年かたつて土方と夏繪は一子明彦を設けて幸福に暮すがその前に現はれたのは餘りにも變りはてた杉浦と榮子の二人だつた。凡ゆるものに大激動を與へた關東の大震災はこれら主人公達の運命にも大きな變化をもたらした結局友情と戀愛の相剋に苦しみ通した土方はめしひの身となつて思ひ出の戸山ヶ原に靜かに死んでゆく、親友杉浦に夏繪と明彦の幸福一切を委ね乍ら……。彼の喪の日杉浦と夏繪が土方の墓の前に見出したのは永遠に戀しい土方の許に行くべく自ら命を絶つた榮子の傷々しい屍だつた

教育上より見たる 虛弱兒童の養護に就て

（三）　文敎部學校衛生官　佐中秋良

即ち、開放學級又は養護學級は普通の小學校內に於ける特別の敎室又は普通の敎室をこれに充て、身體虛弱兒童のみを以て一學級を編成し、その中に於て、身體の矯正發達、疾病の治療その他一般教授の方法、衛生的施設に深甚な注意を拂つて教育するのであつて、虛弱兒童のみを集めて教育する開放學校と同樣の效果を收めることが出來、しかも經費その他の關係も特別な支出を要しないから一般教育界にとつては非常に好都合であります。

米國に於ては虛弱の程度が著しく常に醫療的處置を必要とするもの

又は休養安臥

を必要とするもの等の重い虛弱兒童は、林間學校若くは海濱學校等の開放學校に收容し其他の一般虛弱兒童は主として前述の養護學級に編入してゐます。それで米國では一つの學校內に養護學級を有しないものは殆んどない位盛であります。

此の傾向は英國に於ても認められます。

日本では最近普通の小學校に於て、繼續的に、學校衛生の見地に立ち、特別學級編成の氣運が勃興し、文部省に於ける虛弱兒童養護施設の奬勵と相俟つて、逐次、增加の狀況にあります。

我滿洲國の現狀を顧るに、從來全く等閑視され、放任されて來た學校衛生の分野であるだけに、學校醫の配置さへ碌にない有樣であつて、只今、他に爲すべき、より重要な懸案が山程有り、目下五ヶ年計畫の下に逐次、實現を期して居りますが近き將來に於ては、

虛弱兒童の問題

も、王道滿洲の惠光として當然、實施せねばならぬ緊要事と考へて居ります。尙又滿洲國の現狀より推して、比較的虛弱兒童の數多く、而も特殊な療養施設のある學校の設立に對し、經濟上非常な犧牲を拂はざるを得ない國では、此種の特別學級の編成を盛にして虛弱兒の衛生的保護を圖ることは學校衛生上極めて緊要な施設であります。即ち、學校校舍中で最も日當りの良いあかるい敎室を撰びこれに通風換氣裝置を施し更らに多期の煖房裝置を衛生學上、遺憾なく裝備し、校具に對する注意、淸潔法、其他學校衛生上、極めて合理的な環境を作るのであります、そして此の敎室に接する休養室或は醫務室を常備し、此處には寢台、體重計、急救藥品、消毒藥其他學校衛生上、必要なる設備を致すのであります養護の實際施設として、第一に擧げらるべきは檢溫と檢脈でありまして、これは

一定のカードを

作り、午前、午後の二回に亘り、擔任敎師或は學校看護婦が測定記入します。次に實行すべきは每朝、授業開始前に含嗽をさせ、出來れば齒磨訓練を併用させるのであります。また休憩時間を利用して空氣浴や日光浴を實施します。經濟的方面に於て許すならば、人工太陽燈の一つ位、備へて時折、紫外線による皮膚抵抗力の增加、體質改善を圖ります。且又、學校に於ける營養給食の實施、肝油の服用、トラホームの洗眼、矯正體操の敎導、箱庭の栽培による自然への愛着運動等を行ひ、更に、夏期に於ては休暇聚落、林間乃至海濱學校の實施を盛にします學校區は此等兒童に對し、ピルケー反應の施行による結核感染の

有無を調査する

事が肝要であります。教授訓育に關する衛生方面は虛弱兒童に對する一般的養護施設中最も重要でありまして學科の進度、教材の分量、學習の程度に對して一般的に輕減の態度を採り場合に仍ては免除も辭せないのを標準とします。即ち、教授學習による心身の過勞防止にその根本精神を置くべきであります。

墺・露名匠の室內樂

後〇・二〇　名古屋

名古屋ストリング・クワルテット　第一ヴアイオリン　中村日出男　第二ヴアイオリン　小仲章嘉　ヴイオラ　高松茂　チエロ　堀浩

一、絃樂四重奏曲（二長調）モーツアルト作曲　作品五七五
第一樂章　アレグレット
第二樂章　アンダンテ
第三樂章　メヌエット
第四樂章　アレグレット

このクワルテットはモーツアルトがチエロの素人奏者として有名であつたプロシヤの王、フリドリッヒ・ウヰリアム二世に捧げたチエロを主とした三つの絃樂四重奏曲の中の一曲であるこの三つの曲は彼の四重奏曲中の白眉ともいふべきものであり、他の四重奏曲に比して演奏が困難であり、又時にチエロを活躍させてゐる。一七八九年の五月ウヰンナに於て作曲されたもので、そのハーモニーの深み、又變化發展の妙味は實に彼モーツアルトの傑作といふべきものであらう

二、モルト・レント　ルビンシユタイン作曲　ボーション編曲

ルビンシユタインはロシアの作曲家である、この曲は彼の絃樂四重奏曲、作品十七番の第二番の中の一樂章であつて非常に典雅な美くしい曲である。

新人の午後

後一・五〇　東京

△輕音樂（アッコーディオン二重奏）　長內端　渡邊弘
一、私のコルサラ　タランテロ作曲
二、詩人と農夫　スッペ作曲

△義太夫　一谷嫩軍記（熊谷陣屋の段）　浄瑠璃　柴野半次郎　三味線　豐澤團八

△哥澤　一、登り下り　二、戀すてふ　唄　榛原泰枝　三味線　哥澤芝壽満

△義太夫　玉藻前曦袂（道春館の段）　浄瑠璃　和田濱治　三味線　野澤道之助

△輕音樂（指笛）　曲目未定　田村大三

△歌澤　一、わしが國　二、歳の瀬　唄　吉田豐藏　三味線　歌澤寅藤

△義太夫　奥州安達原（袖萩祭文の段）　浄瑠璃　高野きよ　三味線　竹本三福

うたのおけいこ

（コドモのテキスト　十一月特選童話）

【後五時】　柴田秀子

一、佛法僧　赤澤佐以子作詞　吉原規作曲

お耳をすましてよくお聞き、ほら鳴いてますきこえるでせう、ブッポーソー、ブッポーソー、坊やも口眞似「ブッポーソー」

をかしな鳥ねえお母樣、どんなお山に居るんでせうかブッポーソーブッポーソー坊やも口眞似「ブッポーソー」

二、アンテナの背くらべ　三苦くみ子作詞　加藤しのぶ作曲

アンテナアンテナせいくらべ、向ふのお屋根のアンテナも、こちらのお屋根のアンテナも、負けずに高いとゐばつてゐる

アンテナアンテナせいくらべ、お庭の土藏の屋根よりも、遠いお山もなんのそのまだまだ高いとゐばつてゐる

アンテナアンテナせいくらべ、高い高いとゐばつたらまだまだ高いお月さま、お空の上で笑つてた

文藝

寛城子から（一）

奥　一

寛城子へ遷つて丁度二ケ月になる。

私を寛城子へ引きつけたのは赤平氏や今元が近くにゐるといふ事だけではなかつた。又家賃の安いといふ事だけでもなかつた。勿論百いくらの家賃が約八分の一になるのはあの場合大へん有難い事ではあつたが街への往復の馬車賃を加へると家賃のハンデキャップはそう大したものではなかつた。

大同元年の初夏、つまり渡滿後暫らくして、私は初めて寛城子へ來た、戰塵かすかに臭ふエキゾチックな街に目の碧いロシヤ娘が馬上豐かにギターをかき鳴らしてゐた姿がいつまでも私の腦裡から去らなかつた。

然しそれよりもむしろ、大經路の工場が人手に渡り、一時十何人ゐた職工のうち、最後まで私の爲に打死を覺悟で踏止まつた數名が悲壯なる解散をした時の私の千々の心を、戰傷でいため付けられたこの街の雰圍氣が靜かにいたはつてくれる樣な氣がした。

で一日、寛城子の先輩、人形の赤平氏と共に家を探した、どうせ來るならロシヤ人の家に住みたかつた。

暖かい壁ペチカ、一日中たぎつてゐるサモワル、純白の部屋の隅に古びた聖像、重いドア、その中で物思ひながらロシヤ胡瓜にウオッカをチビリチビリとやるのはまことにいゝものだと思つた。

幸ひ格好な家があつた。前庭約百坪、グスベリーの木と、大輪のダリヤが遊女の樣に艶を競つてこびてゐた。鳩が二十何羽、アヒル一羽、七面鳥一羽、鵝鳥一羽、猫一匹、雞六七羽、猛犬一匹、何となくのんびりした、このラヂケウイッチ家一劃がすつかり私の氣に入つた。

私は早速一ケ月分の前家賃を渡して約束した。

この一劃は家主ラヂケウイッチ老人夫妻と子供達、日本人軍屬二家族、蒙古人一家族、老人の遠縁にあたる露人一家族、そこへ私の一家族、全く國際的な寛城子らしい一劃だつた。

「眼のきれいなロシヤ娘とキスしたら、グスベリーの香ひがした」誰か抒情詩人のこんな一節を思ひ出した、來年の春二尺足らずのこの灌木に眞青な實が無數になるだらう。

そしてその實のお尻にはどれも皆未熟のしなびた花辧をつけた滑稽な姿を見せるだらう

私の幼い頃父がロシヤから持つて歸つて植えてあつた、あの頃をきつとこの酸つぱい實がなつかしませてくれるだらう

翌日母と私と妹二人と、野良犬のミッチャンの四人一匹の家族が引つ越して來た。

ミッチャンは野良犬である。

生れて間もなく、まだ眼がはつきりしない、手の中へはいりそうな可愛いゝ子犬の頃腹をすかせてヒョッコリころげ込んで來た。

そのまゝ三階の梯子の下を住居と定め家族の一員に加はつた。

幼名ノラシロ、野良犬の白公だからそう呼んでゐた。時計の紐の首輪がよく似合つた。

一週間もたつと、首輪に紙片がぶら下つて赤い星一つくつゝいてゐる。翌日は二つ、次に三つ、何だろうと思つてゐたら、なる程ノラシロ上等兵なんだ

當時家にゐた長岡といふ子供のいたづらだつた。血統は爭へぬものでこのノラシロ上等兵いくら敎へても藝を覺えないので進級の價値なしとして藝を覺へるまで長岡に進級を禁じた。

やつと二週間目に夜中小便するのにワン〳〵ほえて起す故をもつて初めて伍長に進級をゆるした。

然しどうもノラシロでは呼び難い、いつの頃からか母がミッチャンと呼び初めた。理由は笑つて云はない、四五日してやつと分つたのは、以前佐和山一郎が發表した名文彼女と何とかと云ふ彼の戀人ミッチャンの事を書いた創作だつた。その中の一節、惡太郎共が佐和山の戀人ミッチャンを「ミッチャンミチミチウンコタレテ云々」と云つていじめた。ノラシロもミチミチやるし、娘だし、そこからミッチャンと呼び初めたものだらう

このミッチャン、我輩も家族の一員とばかり、新らしく變つた家へ先になつて乘り込んだ。

先住者の露西亞人と、蒙古人と、日本人に挨拶して、それからこの一劃に素晴らしいロシヤ娘のゐる事を發見した。

どこかで見た事がある、たしかに見覺へのある制服の處女の何とか先生に似たこの娘がどこで見たのか思ひ出せなかつた。

童謠　舟出の思出

室町校　高二　馬場　正治

悲しかつたよ　別れの時に
内地の山が　送つてくれた
一人ぼつちで　送つてくれた
船が港を　離れる時に
なんだか〳〵　悲しくなつて
知らず〳〵に　小さな露が
つるゝすてんと　落ちていた
段々お國が　小さくなつて
大きな〳〵　海の上
今からお船で　新滿洲へ
又々なんだか　悲しくなつた

童話

海野重夫

D

白いベットに寝そべつて、私は微笑つて瞳を閉ぢる、白が私に融け込む、身を起そうとして私は自分の存在の消え失せてゐるのに氣がつく

ハ、ハ、ハ、ハ、ハ………
ハ、ハ、ハ、ハ、ハ………

私はどこで笑つてゐるのであらうか、私は私を探し求め、私は私を見失ひ乍ら、私は益々可笑しくなる。

新年文藝懸賞募集

募集規定

かねてより滿洲國文化機關として王道文化の藝術運動に努力しつゝある本社では、輝かしい昭和十一年（康德三年）の新春を迎ふるに當り、この意義ある門出を祝し、本紙新年元旦號を飾るため、左の項目に分つて愛讀者より清新の意力に溢れた文藝を募集することになりました。冀くば、新らしき年を迎ふる諸兄姉の自信に充ちた作品を殺到させられんことを！

A 種目（賞金）

1．創作（小說、戲曲）
▲四百字詰原稿用紙二十五枚以内
一等（一篇）…賞金二十五圓
二等（二篇）…〃各十圓
選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

2．長詩
▲四百字詰原稿用紙四十行以内
一等（一篇）…賞金十圓
二等（二篇）…〃各五圓
選外佳作……隨意本紙購讀券呈す

3．短歌
▲用紙は官製ハガキ、一人三首以内
一等（一名）…賞金五圓
二等（〃）…〃　三圓
三等（〃）…〃　二圓
佳作隨意……本紙購讀券呈す

4．俳句
▲用紙官製ハガキ、一人五句吐
天（一名）…賞金　五圓
地（同　）…〃　三圓
人（同　）…〃　二圓
佳作…本紙購讀券呈す

5．川柳
▲用紙官製ハガキ、一人五句吐
天（一名）…賞金　五圓
地（同　）…同　三圓
人（同　）…同　二圓
佳作…本紙講讀券呈す

右の中創作及び長詩は作品詮衡の嚴正を期するため、別紙に認めた「題名及び作者氏名」を原稿と同封、余白半枚に作者略歷を添えること（郵稅不足その他規定に抵觸するものは一切採らず）

B 選者

▲創作……編輯局同人
▲詩……加藤郁哉氏
▲短歌……八木沼丈夫氏
▲俳句……石原沙人氏
▲川柳……青龍刀氏

C 締切期日

本年十二月十五日（十五日の消印あるものも受附く）

D 發表

本紙明年度一月一日號紙上、賞金は發表後一ケ月以内に送附す

E 宛名

原稿は全て「新京永樂町四丁目新京日々新聞社編輯局」宛、封筒及び葉書表には必ず「新年文藝懸賞應募原稿」と朱書すること

新京日日新聞社

文藝手帖

▲數日來猛烈な齒齦炎に惱まされて心身共に疲憊の態である。そうした中から同人たちの救援を得て文藝欄をお目にかけてゐる。力の足りないところはそうした狀勢の歪曲と諒恕ありたい。

▲川内堯君の『生活の花』はあと一回の豫定であるが延々になつてゐる。來るべき年頭あたりから近東あたりを動員したいと思つてゐるが、實現するかどうか。

▲新年文藝募集は別掲の通り發表した尠くとも年頭を飾るべき有力な作品の出現を同人一同待望してゐる。新らしき滿洲文學への一指標を打ちたてよ。

▲海野の詩『童話』は少しづつ續けるつもりである

▲寛城子に引上げて行つた奥君が原稿を送つてくれた、好もしい隨筆である、誠ひは彼の生活にタッチしてゐない人にはそれ程强く感ぜられないかも知れないが、自分の生活を愛してゐる彼の心境には惹かれるものがある、高梁とゝもに健在を祈つてやまぬ

▲昨夜、同人の和田と連れ立つて、ディトリッヒの『西班牙狂想曲』を觀た、該映畫は西班牙軍人を侮辱すると言ふ西班牙政府の抗議で十一月一杯を期し日本でも上映を遠慮することになるらしい、藝術と權力の一つの問題として何か一つの寂しさを考へさせられた作品の批評は言はない

▲いつか本欄で斷つておいたと思ふが、新年文藝募集を助長するために、十二月の募集小說は休むことにした二三送稿してあるが、普通寄稿として取扱つておきたいと思ふ、但し返戻を乞はれる方は（該稿に限り）郵券封入申込まれ次第返送手續きをとる

▲月例文藝座談會も近々に催したい、寄稿家新顏の多數來會をお願ひしておきたい（由良武己）

學藝ニユース

▲大內隆雄面會日　公用、緊急重大用を除き日曜日九時から十五時まで自宅にて

區民の要望を容れ 寛城子接收急ぐ
來年度から實現すべく 市公署準備に着手

現在北滿特別區管下に置かれる寛城子はいづれ早晩新京特別市に編入される運命にあるが、特別市公署ではこれを來年度から實現すべく、目下同署調査科において接收についての準備を急いでゐる、一方國都建設局區域の特別市編入は同局の國都建設五ヶ年計畫を終る再來年三月を以て行はれる豫定であつたが幾分おくれて同年夏頃の見込で附屬地行政權の返還とともに、こゝに名實ともに國都大新京が生れるわけである、なほ現在の寛城子は北滿特別區の行政下にあるため、教育、衛生、道路その他何一つ施設らしい施設が行はれないため同地居住民はこれが特別市編入方を極力要望中であるが、これが實現すれば今まで繼子扱ひの態にあつた同地が特別市並みに扱はれ面目を一新することになるであらう

今年も近づく 歳末同情週間
＝社會係で氣を揉む＝

本年も餘すところ月餘に迫つたが、地方事務所では毎年ながら、歳の瀬迫つて食ふに糧なき哀れな貧困者のために歳末同情週間によつて、これを救濟したいといふので、來る五日各機關聯合これが打合會を開くこと丶なつたが、本年は人口の増加と丶もに貧困者の數も昨年以上に多い見込みで地方事務所社會係では同情袋二萬袋を各戸に配布し各方面の贊助の下に廣く一般から寄附を仰ぐこと丶なつた、五日の打合會で募集方法その他詳細が決定される

モヒ密造は 首都警察管內

本年九月以來新京特別市興安大路四一四號で呉服商を裝ひ大々的にモヒ密造をやつてゐた本籍奈良縣生れ森川善作（四五）につき領警署ではなほ嚴重各方面との連絡系統を追究中であるが相當廣範圍に亘つて今までの秘密が暴露さるるものと見られてゐる、なほ場所は白菊町派出所の眞前で興安大路を挾んだ特別市首都警察管內であつた

第一次長春縣 協和聯合協議會 二十九、三十兩日開催

協和會新京辦事處では二十九三十兩日午前十時から記念公會堂一階會議室に於て第一次長春縣聯合協議會を開催、三十日午後六時より大馬路鹿鳴春に於て懇親會を催す豫定である

二日續きの休みで 昨夜の列車滿員

久しぶりに續きの休みにお役人さん、會社員、學校の先生各中等學校寄宿舍生たちは慰安旅行に、懷しい親元へ、或は友を訪れ大連、ハルビン、四平街その他沿線へと旅行するもの多く二十二日の午後四時發大連ゆき、ハルビンゆきその他各列車とも大入滿員で驛頭はこのごろにない雜沓を演じた

湯崗子行き 今朝出發

二日續きの休みを利用しての湯崗子溫泉行き旅行參加者廿六名は驛酒井助役、鈴木係員及びビューロー世古係員の案內で今朝九時發はとで出發する、尚二十三日湯崗子一泊二十四日は車中一泊の上月曜日午前七時着列車で歸京の豫定

沼田平五郎君 防空獻金

嘗て東都球界に日本の名二壘手として名聲を謳はれた沼田平五郎選手は今特別市公署に勤務してゐるが昨年愛息登君を靈界に送つて一周年、其靈

た、如何にもスポーツマンらしい積極的な慰靈態度が係員を深く感激せしめて居る

◇入營近し◇

尾高司令官 吉林へ凱旋

【吉林國通】本年九月下旬以來吉間兩省の大討匪工作を開始するや自ら駒を第一線の陣頭に進めて約二ヶ月間に亘り部下將兵と生死を共にした當地〇〇隊司令官尾高少將は廿二日午後零時十七分着列車にて日滿官民、國防婦人會等盛大なる歡迎裡に幕僚以下を隨へ無事凱旋したが左の如く語る

「よくやつてくれた」の一語につきる島本部隊の馬參謀逮捕を筆頭に樺樹、舒蘭縣下の肅清は全く完璧といふべきで他縣も亦全く匪影を認めなくなつた、兵の困苦は全く想像に絶し、背に固パンを負ひながら一日中食も攝らずに行軍することも度々あつたが他面肅清後に建設された八十の集團部落民との朗かな勞務に眞の日滿融和の情景を見せてゐるのも度々見聞した、此の度の討伐で斃した匪數は三千名を下らぬつもりだ、又空中輸送の利益には最も痛感した、飛行隊の勇敢なる行動には全く感謝の外無い

郵便現業員の競技 愈よ午前九時から
さて優勝選手は誰

關東遞信局主催第二回全滿郵便現業事務競技大會は二十三日午前九時より市內吉野町新京公會堂に於て開催されるが出場選手は沿線十九局より左記三十九名に決定した、いづれ劣らぬ優勝候補のみで中には五百枚の消印を僅か二分四十秒でやつてのけた者もあり又五百枚の區分を四分五十秒で片付けたものもあるといつた鹽梅で、榮冠は果してどの選手の手に歸するか全く豫斷を許さず、從つてそれだけ期待と興味をもたれてゐる當日は中村遞信局長、大久保總務課長、石河新京、高橋大連、木下奉天、金井安東各局長等も臨席のでゐる

參加選手

△營口局－堀切春男、古賀通文△熊岳城局－小高猛美△蓋平局－直塚清一△鞍山局－高田正信、吉國秀長△遼陽局－田口武△奉天中央局－平井七藏、辛島武雄、水口清美、城野和一△奉天鐵道局－吉田新六△鐵嶺局－德永孝義△撫順局－平川伊吉、岩井利之△四平街局－久卿猛美、山本小一△公主嶺局－溝田榮、松尾清數、榎並忠實△本溪湖局－古川石松△安東局－小峰博、益田正道、高木邦男△新京中央局－松間健、後藤卓郎、本田興、竹迫實△大連中央局－西野克己、村尾春二、池谷一之、向井繁△沙河口局－岩田一美、片島忠△旅順局－島田明治、石川秀太郎△新旅順局－石井巳代治△大石橋局－大山照夫

大連ギャング

上　ギャング事件現場臨檢中……犯人は手前右側男の前に丸半分見へる丸窓より手を入れて金を奪つた
下　犯行直後の滿洲銀行前

首都警察總監後任 金榮桂氏か

故首都警察總監修長餘氏の後任は國都の重責に任ずるだけに政府當局もこれが補充に就ては頗る愼重に詮衡中であるが目下旅行中の張總理の歸任を待つて最後的決定をする筈で、現ハルビン警察廳長金榮桂氏の起用を見ることに內定してゐる

川崎海員 ゼネスト擴大

【神戸國通】新海員組合では會社側の强硬なる態度に對し廿一日午後六時から組合本部に緊急首腦部會議を開き協議の結果午後十時に至り同組合支配下にある社外船三百隻、乘組員約八千名に對し同情停船の指令を發し遠洋航海中の川崎汽船十八隻に對しても「最寄り港で停船指令を待て」との指令を發して遂にストライキを斷行する事となつた、但し組合側では特に軍用船及び軍需品積載の船舶は國家的立場よりして之を除外、停船を行はぬ事に決定、之と共に爭議解決條件は單に川崎に對する要求條項の承認のみを以て滿足し他の社船に對しては罷業權の擁護を主眼とする事になつた

關東州水產會

【大連支社發】關東州水產會では來る二十八日午前十時半より滿鐵協和會館に於て創立十周年記念式を擧行し水產功勞者並に勤續者の表彰を爲し式後遼東ホテルに於て祝宴を催すことになつた

北滿荒しの「說禮」捕はる

昭和二年以來九ヶ年間に亘つて伊通、懷德、梨樹各縣に於て數百件の强盜殺人等をなし部下百五十餘名を有する匪首として事變以來日滿兩軍の討伐にも巧みにのがれてゐた、說禮事劉殿榮（四四）は本月上旬伊通縣に於て野猫、林好匪と合流し滿軍の討伐に遭ひ新京城內に潛入せりとの情報に接した公主嶺警察署では新京に捜査員を派し捜査中廿一日午後七時頃遂に新京城內で逮捕された

濱田司令官 二十五日午前着任

新任駐滿海軍部司令官濱田中將は二十五日午前八時五十分新京驛着列車で着任される、なほ軍令部出仕に榮轉の前司令官津田中將は二十七日午前九時新京驛發列車で赴任される

駐滿海軍司令官 更任披露宴

駐滿海軍部司令官津田靜枝中將と濱田吉治郎中將の更任披露は來る廿五日午後六時から新京ヤマトホテルで催される

青木高等課長 出張

青木關東局高等課長は東條警務部長の代理として滿洲事變に依る勳章及び從軍記章傳達の爲め廿二日午後二時新京發「あじあ」にて奉天、安東、大石橋、大連の各署に對する授與式に南下した

來る十二日に 防空展の催し
近く防護團打合せ

來月十二日の防護デーは防空展覽會を開催し、全市防空色を以て彩ることになつてゐるが、新京聯合防護團ではこれに關する關係者の打合せを來る二十七日開催の豫定で、既に出品資料その他について準備中である

吉林省長 地方巡視日程

【吉林國通】曩に敦化、額穆兩縣方面の管內巡視を行つた吉林省長李銘書氏は今回長春伊通、双陽三縣下の地方巡視を行ふ事となつた、一行は李省長、羅實業廳長、馬事務官の三名で此外に特務機關長中野中佐も同行の豫定である、尚一行の日程は廿三日午前八時卅八分吉林發新京へ向ひ同地に二泊廿五日公主嶺を訪問廿六日伊通縣へ向ひ縣下各地を巡視の上双陽縣に向ひ廿八日双陽縣下を巡視の後廿九日午後六時五分歸吉の豫定

歳末の鐵道便贈答品は なるべく早く 受託

新京驛小荷物取扱所では早くも年末年始用贈答品小荷物の發、着配達について迅速、確實並びに配達區域の無料配達などについて、いつくでもござんなれ といはぬ ばかりに準備萬端濟して待つてゐる、毎年のことながら來月十日過ぎなければ誰でも發送せず、十日すぎ年末おし迫つてから一時にどつと來るので係員が困る、これに鑑みて今年は特に早くから準備してゐるから一般市民はこの驛員の意もくんで來月早々からでも受託發送されたいと、なほ小荷物は荷造りを丈夫に、宛名をはつきり書き、又配達の確實、迅速ならしめるため各自の現住所、名義をはつきりしておいて欲しいと

名古屋の人口 百七萬九千三百餘

【名古屋國通】國勢調査で名古屋市は人口百七萬九千三百餘人で京都より一千人多く、第三位である

前田電々理事

滿洲電信電話株式會社理事營業部長前田直造氏は二十二日着任挨拶に來社

山領貞二氏來社

吉林鐵路局副局長山領貞二氏は今回總局勤務監察を命ぜられたので二十二日暇乞挨拶に來社した因に氏は二十四日午後二時發列車で赴任する

大連の 時局後援會解散

【大連國通】昭和六年滿洲事變勃發以來滿洲建國工作史上に幾多の功績を殘した全滿日本人時局後援會は爾來四ヶ年間に於てその歷史的使命を完了し愈々二十二日を以て解散式を擧げる事となつた、午後二時同會々長たる前大連市長小川順之助氏を始め當時同會の誕生に與つて力あつた在連關係者約三十名集合、先づ小川氏より解散理由を說明、挨拶の後今村市議より會計報告を終つて萬歲三唱、次で座談會に入り過去四年間に亘る懷舊談に花を咲かせ午後四時散會した

關東軍記者 倶樂部發會

從來關東軍出入の記者團により組織されてゐた大和倶樂部は諸般の情勢で解散され新に名實共に具備せる關東軍記者倶樂部が生れたので廿二日午後零時半より大和ホテルに於て盛大なる發會式が行はれた出席者は軍關係をはじめ特別會員及會員三十余名で會食後五百旗部監事（滿日）吉田特別會員（朝日）第二課長河邊大佐の挨拶あり二時散會した

小間物の 山田洋行移轉

元大經路八十三番地源內屋に本店を有し新京百貨店內に小賣部を出してゐた小間物類專門店合資會社山田洋行は今回日本橋七十五番地へ新裝なり二十一日移轉した

武道獎勵會 秋季大會延期

新京武道獎勵會主催で來る二十四日開催の豫定であつた秋季武道大會は會場その他の事情で無期延期となつた

馬車內忘れもの

首都乘用馬車人力車營業組合事務所取扱ひ馬車內の忘れ物左の如し

十八日七馬路首卷一本大經路警察署保管、十九日目醒時計一ヶ同、十九日棺掛一枚、棺帶一本同、十九日富士町風呂敷包一ヶ（手提袋旅行券其他在中）同、十九日吉野町 茶色手提鞄一ヶ（辭書其他在中）同

國民同盟の鷲澤代議士が先日來滯京中だつたが、折柄開催の二十日會席上、曾つて同代議士と長野縣下を遊說した國通の瀨沼君、紹興酒の醉ひ到る程に忽ち高擧の大雄辯、手を揚げ首を振つての追憶談、いや小飯莊で十人ほどで傾聽するのには惜しい代物であつた

愛よ戰ひとれ

（八十七）

福田正夫 作
泉武久 畫

「峰まで（円）」

みとめられたもの丶、淋しさ！——
珠江には少しの間に、ファンも多くついた。そして舞踊への自信もつかめた。——が、さうしたものが、舞踊藝術そのためには役立たない、煩はしさをも多く持つて來たのである。

その上に、寂しさと峰村の死に激動された聞え！

「私は、あたへなかつたけれど、彼女ではない」

彼女はそれを想ひ出すのである。前日からの番組で、彼女の主演する二幕をあたへられて、その外は全員舞踊へ出るだけでよくなつたから、身體としてはずつと樂になつてゐたが、それだけに心の苦しみはひどかつた。」

「どうだらうか？」

まだ評判がわからないし、それも氣に病まれるのである。

他所からの攻擊も烈しいから、つゝましく耐えてはゐるものゝ、血みどろにのしかゝつてくるものがある氣がして、それも落着けない一つであつた。——舞踊團は經濟的にも苦しんでゐるから、

「俺は上げるけど、給金は上げられないんだ、氣の毒だが……」

と、金井はいふのである。

つけ加へれば、主演の彼女としてどこへも行きわたらせなくてはならないのだ。——彼女は峰村から貰つた金の殆んどを、そのために使つてしまふと、

「どうかなるわ！」

といふには、彼女に先のことがわかり過ぎて、ひどく心配になつた。

「この先はどうなるだらうか？」

彼女には半月毎にくる實家で、また主演をあたへられることが恐ろしかつた。

が、それがさうなるものもない。——彼女はその日、凡てを忘れて熱演をつゞけたあげく、部屋に歸つてくると、そこに一つの手紙がとゞいてゐるのを見た。

「まあ、父さんからだわ」

珠江はよろこんだ。

「新聞でも見たのね、……それで所を知つたんだわ」

彼女は、封を切るのももどかしく、中味をうち拡げて讀みはじめると、急にはつと顔色を變へてしまつたのである。

「上京以來折々のおたよりにて、日修勉學のことゝのみ存じ居り候ところ、此度新聞にて、舞踊家となつたこと讀み、皆々驚きと一しよにあきれ申し候。祖先の名譽をけがし、一家を顧みざるの義、不屆き千萬に存じ候。

前々伊野さまの御縁談さまより、既に落ちざる、學資金をなくしたるやうの御たよりあり、出發以來を加算すると、四百圓にも餘る費用をつかひ、あまつさへこの始末、良心さへあればすぐ返却するが至當と存じ、この段申し入れ候。

田舍は先年以來の不況につゞいて、小生は頑健なれど、母はこの程には三ケ月餘り入院の大厄漸く快方に向へど、一家の浮沈はかりなく、所持の土地も既に抵當として、長兄も困難至極のことは御承知と存じ候。いづれにせよ、そなたもそれほど新聞にうたはるゝ人物となり候上はこの一家を見放すことはあるまじ。今後の送金はともあれ、此際の返金により、長兄にも老父より話をいたすべく、即刻取計らひある可く候。

右、用事のみ申し入れ候。以上
父より」

珠江は讀み終つてもなほ、目が暗くなるやうな氣がして、たゞわなわなと兩手をふるはしてゐたのである。